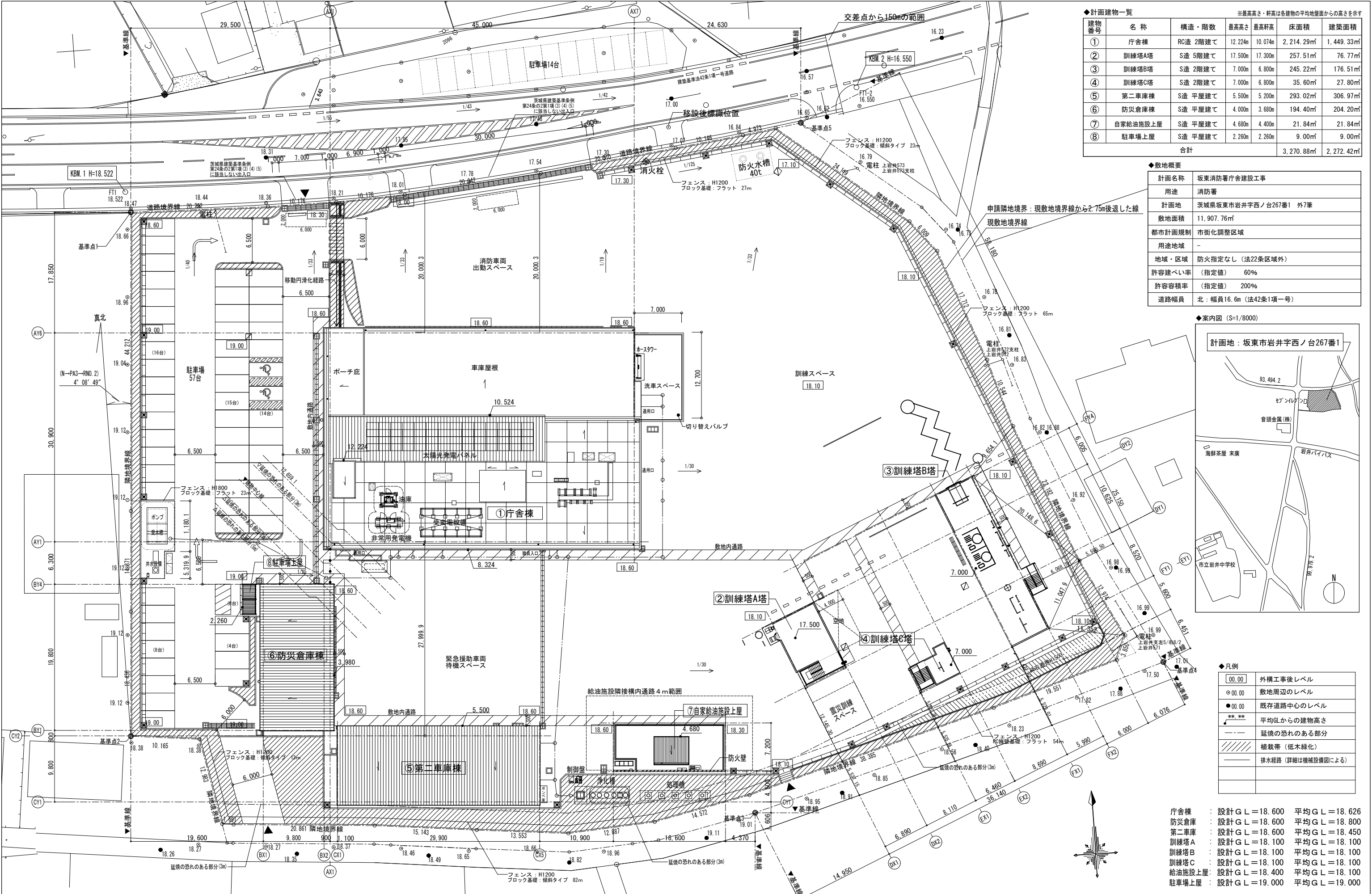


坂東消防署庁舎建設工事（機械設備工事）

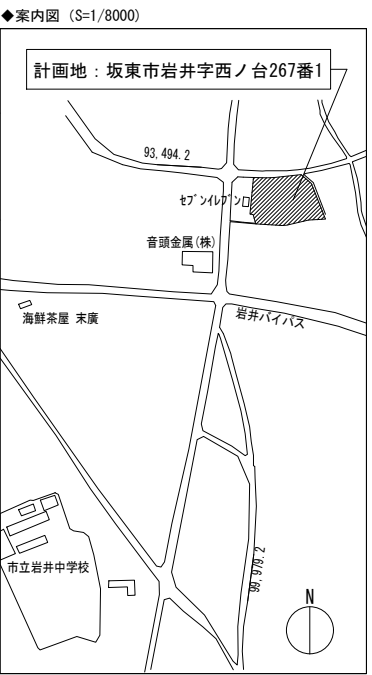
[illegible]

項 目	内 容	建 築				電 気	機 械	外 構	別 途	備 考	項 目	内 容	建 築				電 気	機 械	外 構	別 途	備 考	
		建 築	E・V	給油	各専門工事								建 築	E・V	給油	各専門工事						
1. 仮 設	1) 仮囲い	○									11. 雨水排水	1) ルーフドレイン、中継ドレイン、フロアドレイン、縦樋	○									スラブ下層・300まで建築環境は機械
	2) 共通足場	○										2) 庁舎棟及び別棟の土中埋設管及びビット内配管						○				
	3) 作業足場	○				○	○	○				3) 縦樋受け桟						○				
	4) 請負者事務所、下小屋、材料置場等	○				○	○	○				4) 縦樋受けへの接続及び以降全ての埋設配管・桟							○			結線はEV
	5) 監督職員事務所	○										6) 外構 雨水浸透抑制施設までの排水設備						○				
	6) 工事用の給排水、電力等	○				○	○	○				7) 外構 雨水側溝・桟						○				
	7) 仮事務所等のための水道、ガス、電気の基本料金および使用料金（引渡しまでの料金共）	○				○	○	○				8) 外構 雨水埋設配管						○				結線はEV
	8) 残材場外処分	○				○	○	○				8) 外構 浸透トレンチ・浸透桟							○			
	9) ベンチマーク・レベル出し・通芯・基準線・逃げ墨出し	○																○				
	10) 山留	○						○			12. 動力・制御	1) 動力制御室までの一次側電源工事					○					ダクト接続用は接続用アングル共
	11) 水道分担金											2) セパレート型空調機の外機への電源供給					○					ダクト接続用は接続用アングル共
	12)											3) 上記2)の室内外機のリモコン配管配線						○				
2. 各水槽、ビット及び通達管その他	1) コンクリート造の各種水槽および釜場	○						○				4) ビルマルチ型EHPへの電源供給					○					
	2) コンクリート水槽用鉄筋製蓋および化粧蓋	○							○			5) 上記4)のリモコン及び内機への電源、配管配線					○	○				電源供給のみ電気工事
	3) 湧水ビット、消火用地下水槽および蓋、化粧蓋	○							○			6) 動力制御室および二次側配管配線					○					
	4) 床下配管ビットおよび防臭蓋、化粧蓋	○										7) 空調換気扇とスイッチの連絡配管配線						○				
	5) 各ビットの水槽内部人通り、通気口、通水口	○										8) 上記7)のスイッチ						○				
	6) エレベーターシャフト用ビット、仕上げ	○										9) 各種水槽の液面制御、レベルスイッチおよび配管配線						○				図示による
												・上水、中水受水槽、排水処理槽							○			
3. 各種排水溝および配管トレンチ	1) 屋内各種排水溝及び蓋	○						○				・消火水槽、消火用補助水槽および雨水・ろ過装置系統						○				
	2) 排水溝内の排水目皿および配管								○			・ビット内の排水ポンプ系統						○				
	3) 排水溝端部集水側及び蓋	○							○			・雨水遮断用電磁弁						○				配管配線のみ空調工事
												10) 水中ポンプのジョイントボックスまでのケーブル										
4. 各種基礎	1) 各種機器据付用コンクリート基礎	○							○			11) 上記10)の配管通線結線										
	2) 各種水槽類のコンクリート基礎	○							○			12) 上記10)のボックスより操作室への配管配線										
	3) 各種コンクリート基礎の仕上げ	○							○			13) 受水槽周りの電磁弁への配管配線工事						○				
	4) 鋼製基礎および架台	○	○				○	○				14) 給湯機への電源供給						○				
	5) 各機器のアンカーボルトの取り付け	○	○				○	○	○			15) 給湯機の遠方発停用配管配線およびスイッチ						○				
	6) 受変電設備、自家発電設備コンクリート基礎	○										16) 自動ドアとその電源の二次側配管配線	○									センサー共
	7) 太陽電池パネル基礎											17) 上記16)の電源供給						○				
	8) 外灯のコンクリート基礎							○				13. 防災	1) ガス漏れ警報器および配管・配線工事					○				
5. スリプ箱入れ及びその開口補強	1) 各種配管スリプおよび空隙充填	○					○	○				2) ガス遮断弁の操作BOX						○				
	2) ダクトおよびガリ等（空調工事）の開口箱入れ							○				3) 上記2)の配管配線							○			
	3) ガリ等（建築工事）の開口箱入れ	○										4) 消火器（屋内屋外共）	○									
	4) コンクリート壁埋込管類の開口箱入れ							○	○			5) 大型消火器	○									
	5) 上記1)～4)の開口部補強	○										6) 単独消火器BOX（屋内屋外共）	○									
	6) 躯体貫通部分の防水処理	○						○	○			7) 危険物表示看板	○					○				
												10) 屋内消火栓箱										
6. 内装材切込み及びその下地補強	1) 埋込照明、スピーカー等の天井、壁切込および補強	○										11) 上記への赤灯、発信機、ベル等の組込み										切込のみ機械工事
	2) 吹出口、吸込口等天井の壁切込および補強	○										12) 防火扉・防火シャッター							○			
	3) 壁付換気扇取付枠および穴あけ	○										13) 上記10)用操作用配線										防火シャッター配線・建築
	4) 開口部位置および開口寸法の墨出し	○	○				○	○				14) 防火水槽（マンホール表示板、護手続き共）	○									
	5) スイッチ、コンセント等小開口の切込	○						○	○			14. 自家発電機	1) 自家発電機本体						○			
	6) スチール製パーテーション等の切込および下地補強	○										2) サービスタंक及び本体までの配管						○				
	7) フリーアクセスフロアー等の切込および補強	○										3) 上記1)2)用コンクリート基礎		○								
7. 点検口及び点検扉	1) 天井点検口	○										5) 貯油槽（液面計、給油口、乾燥砂、通気管共）		○								通気管・電気上記以外・建築
	2) EPS・PS・エレベーターシャフト等各シャフトの点検扉	○										6) 上記5)の掘削・山留・据付		○								掘削埋戻し・鉄筋砕石山留めを含む
	3) 床下点検口	○										7) 上記5)からサービスタंकまでの配管（ギヤーポンプ共）						○	○			
												8) 上記5)からサービスタंकまでの設備トラフ（トレンチ）		○								ふた共建築
8. 穴あけ補修	1) 各種埋込器具の穴あけ補修	○	○				○	○														
	2) 躯体貫通部の穴あけ補修	○						○	○													
	3) ダクト等の貫通部空隙穴埋め								○													
	4) 壁類取付部の空隙穴埋め							○	○													
	5) 各種穴あけ補修後の仕上げ	○																				
9. 各種排水金物、トラップ類	1) 各種床排水金物							○														
	2) 遠付流しの排水金物（ステンレス）	○																				
	3) 既製ステンレス流し台類の排水金物																					
	4) グレーチング	○																				
	5) 洗濯機パン（トラップ共）																					
10. ガリ、フード	6) グリーストラップ								○													
	6) ガソリントラップ																					



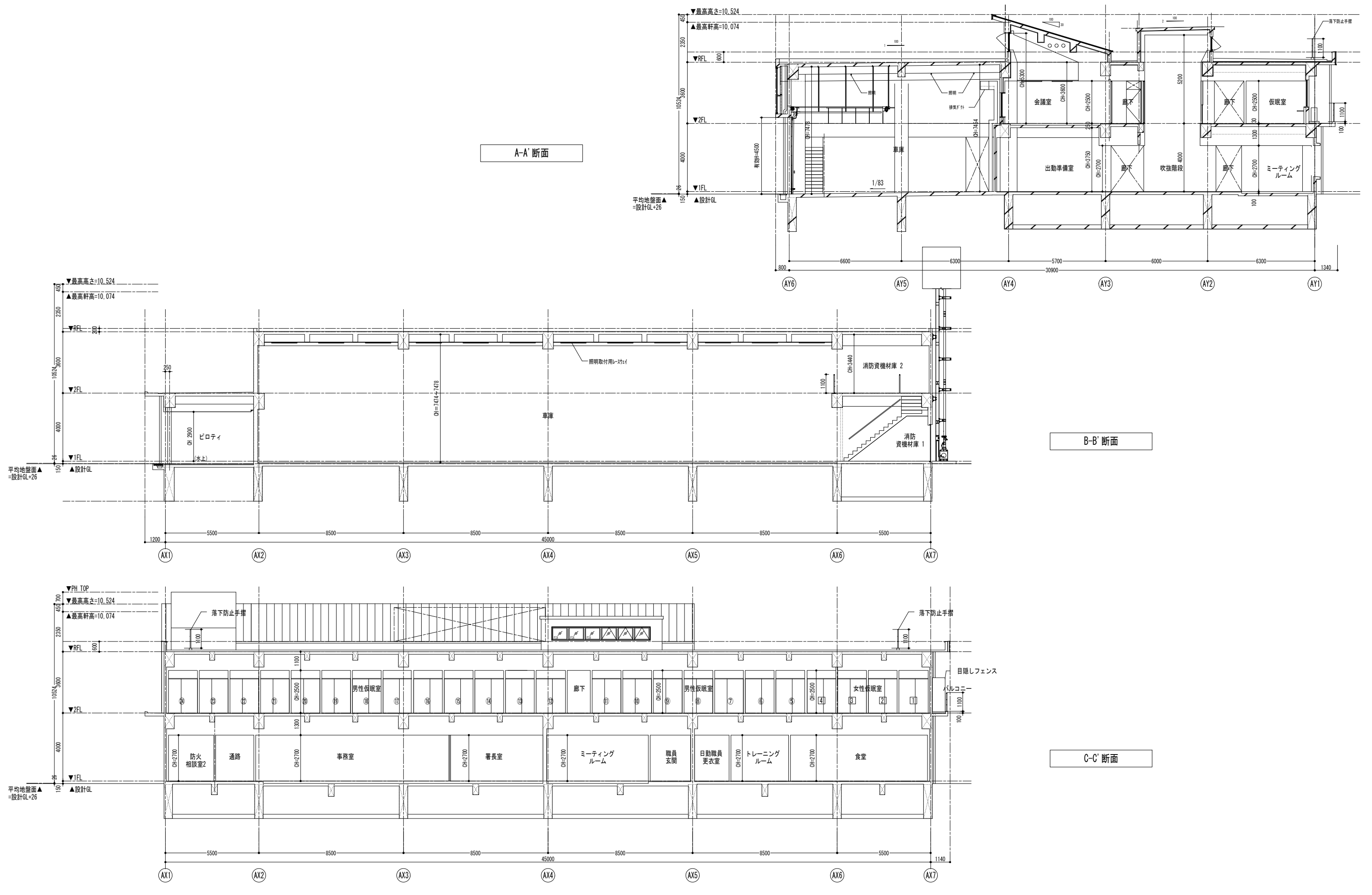
◆計画建物一覧		※最高高さ・軒高は各建物の平均地盤面からの高さを示す				
建物番号	名称	構造・階数	最高高さ	最高軒高	床面積	建築面積
①	庁舎棟	RC造 2階建て	12.224m	10.074m	2,214.29㎡	1,449.33㎡
②	訓練塔A塔	S造 5階建て	17.500m	17.300m	257.51㎡	76.77㎡
③	訓練塔B塔	S造 2階建て	7.000m	6.800m	245.22㎡	176.51㎡
④	訓練塔C塔	S造 2階建て	7.000m	6.800m	35.60㎡	27.80㎡
⑤	第二車庫棟	S造 平屋建て	5.500m	5.200m	293.02㎡	306.97㎡
⑥	防災倉庫棟	S造 平屋建て	4.000m	3.680m	194.40㎡	204.20㎡
⑦	自家給油施設上屋	S造 平屋建て	4.680m	4.400m	21.84㎡	21.84㎡
⑧	駐車場上屋	S造 平屋建て	2.260m	2.260m	9.00㎡	9.00㎡
合計					3,270.88㎡	2,272.42㎡

◆敷地概要	
計画名称	坂東消防署庁舎建設工事
用途	消防署
計画地	茨城県坂東市岩井字西ノ台267番1 外7筆
敷地面積	11,907.76㎡
都市計画規制	市街化調整区域
用途地域	-
地域・区域	防火指定なし(法22条区域外)
許容建ぺい率	(指定値) 60%
許容容積率	(指定値) 200%
道路幅員	北:幅員16.6m(法42条1項一号)

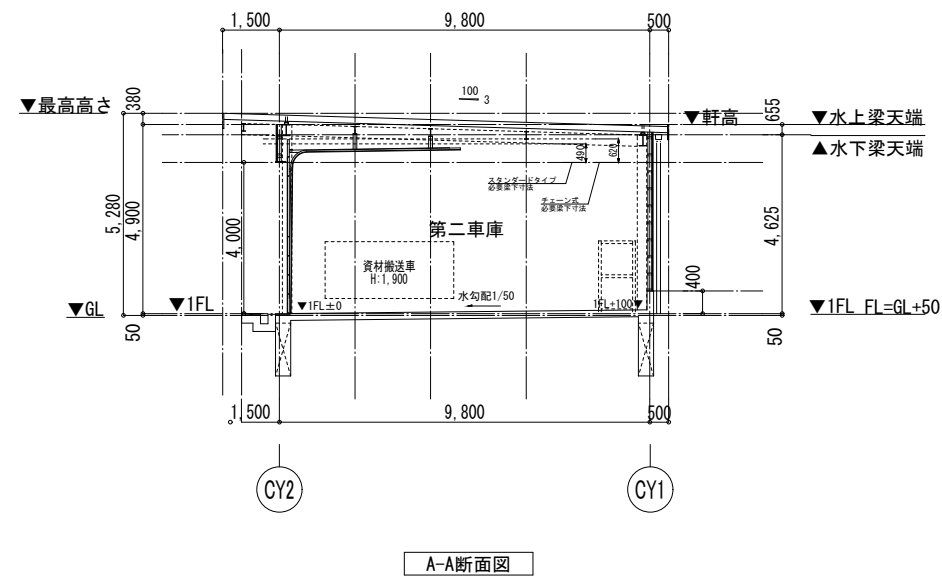
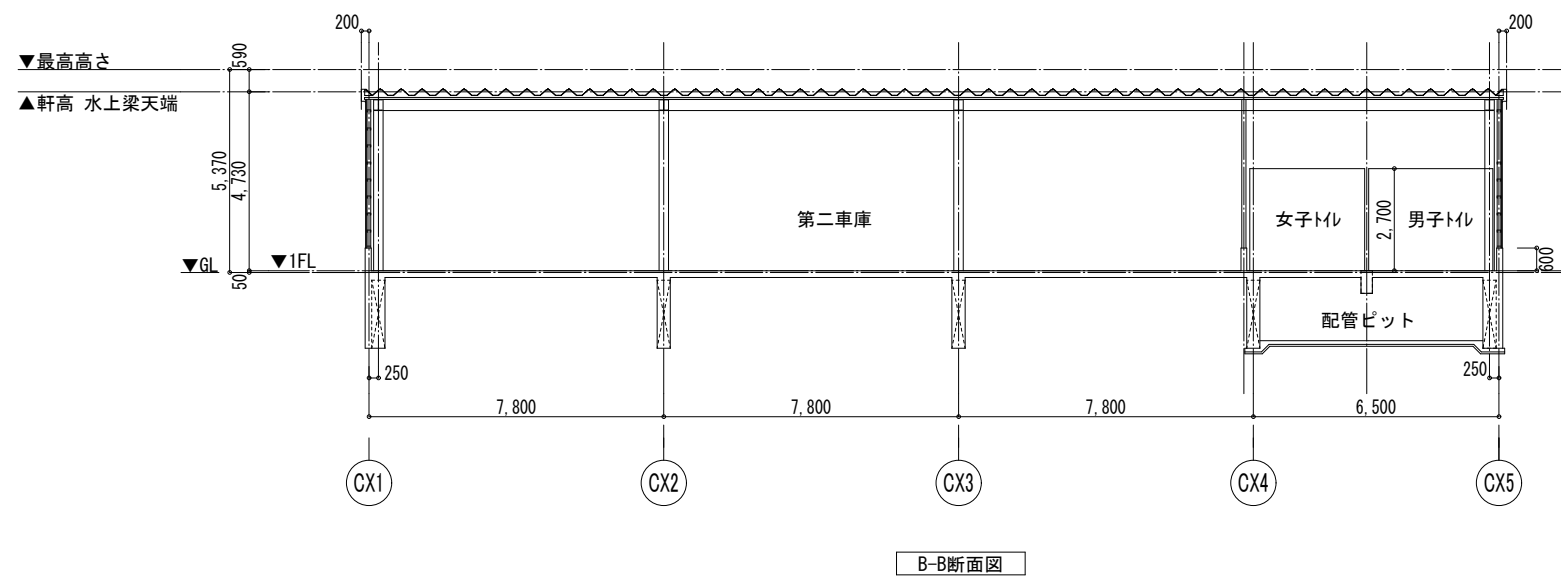
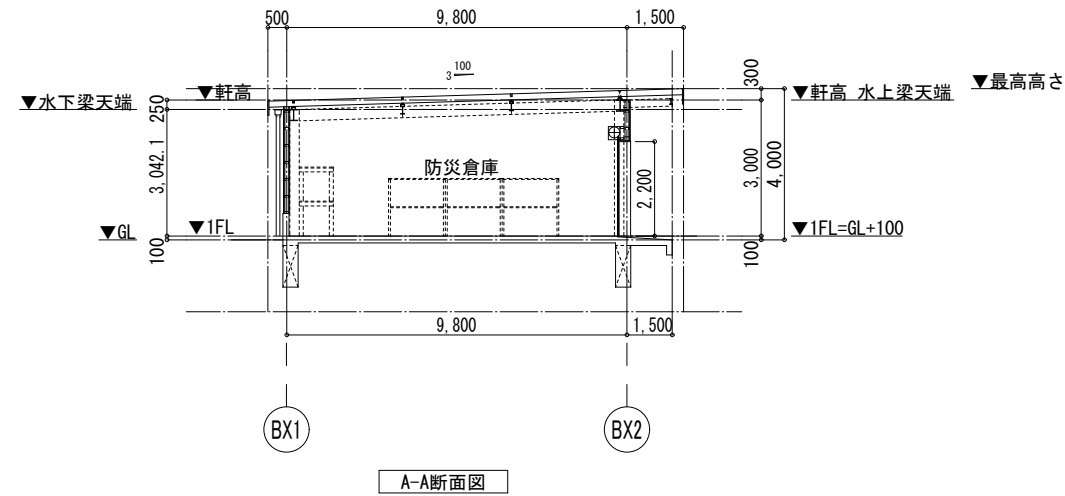
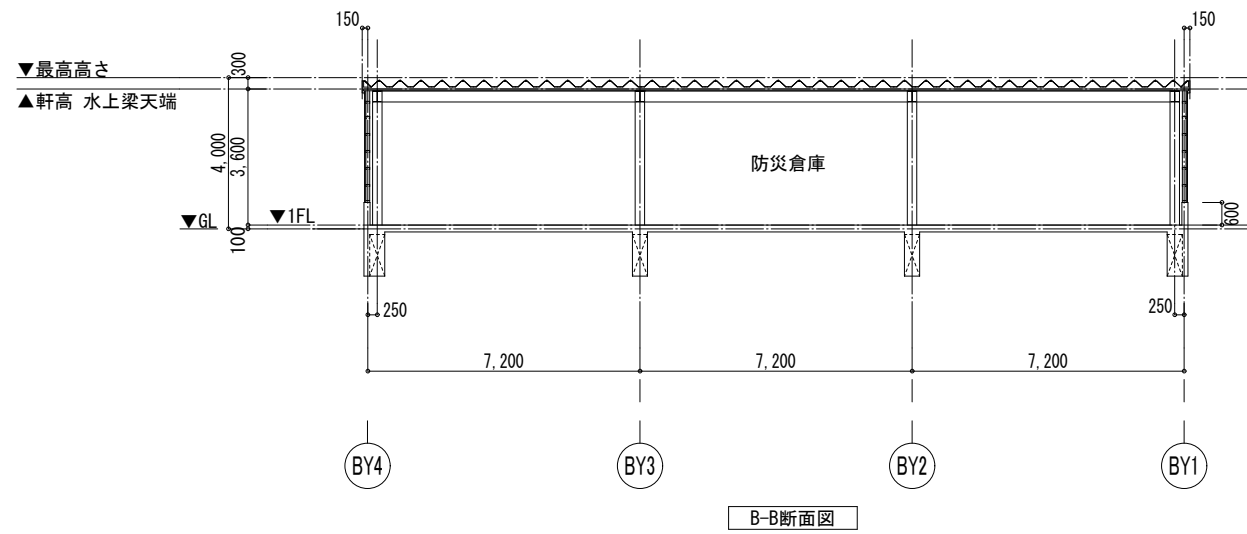


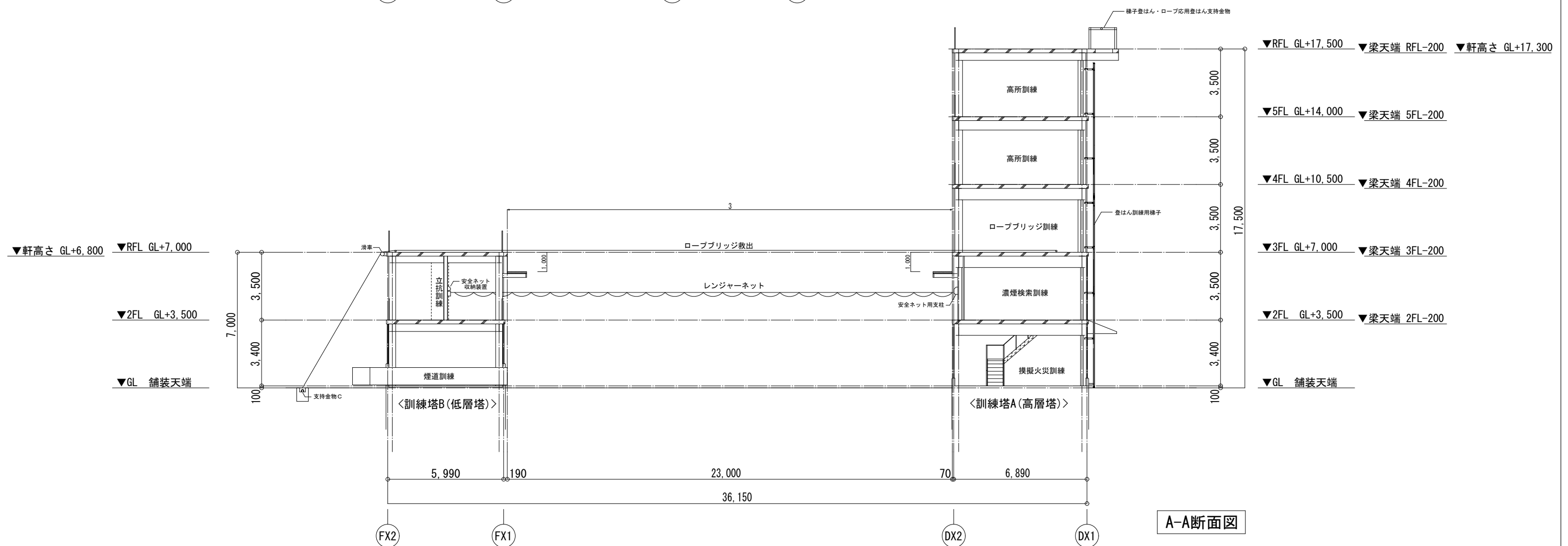
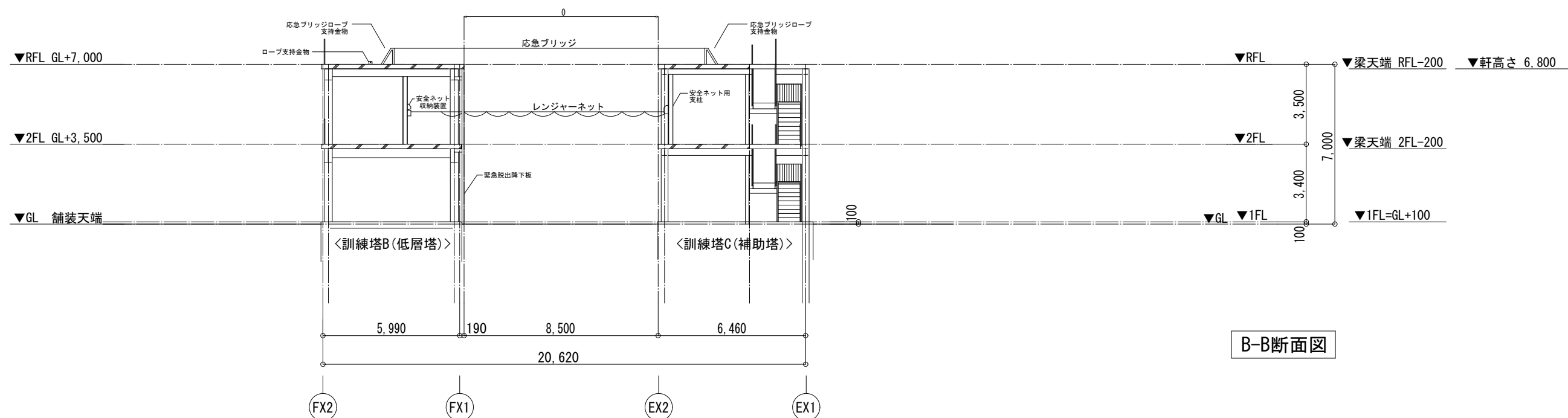
◆凡例	
00.00	外構工事後レベル
○00.00	敷地周辺のレベル
●00.00	既存道路中心のレベル
平均GL	平均GLからの建物高さ
---	延焼の恐れのある部分
///	植栽帯(低木緑化)
---	排水経路(詳細は機械設備図による)

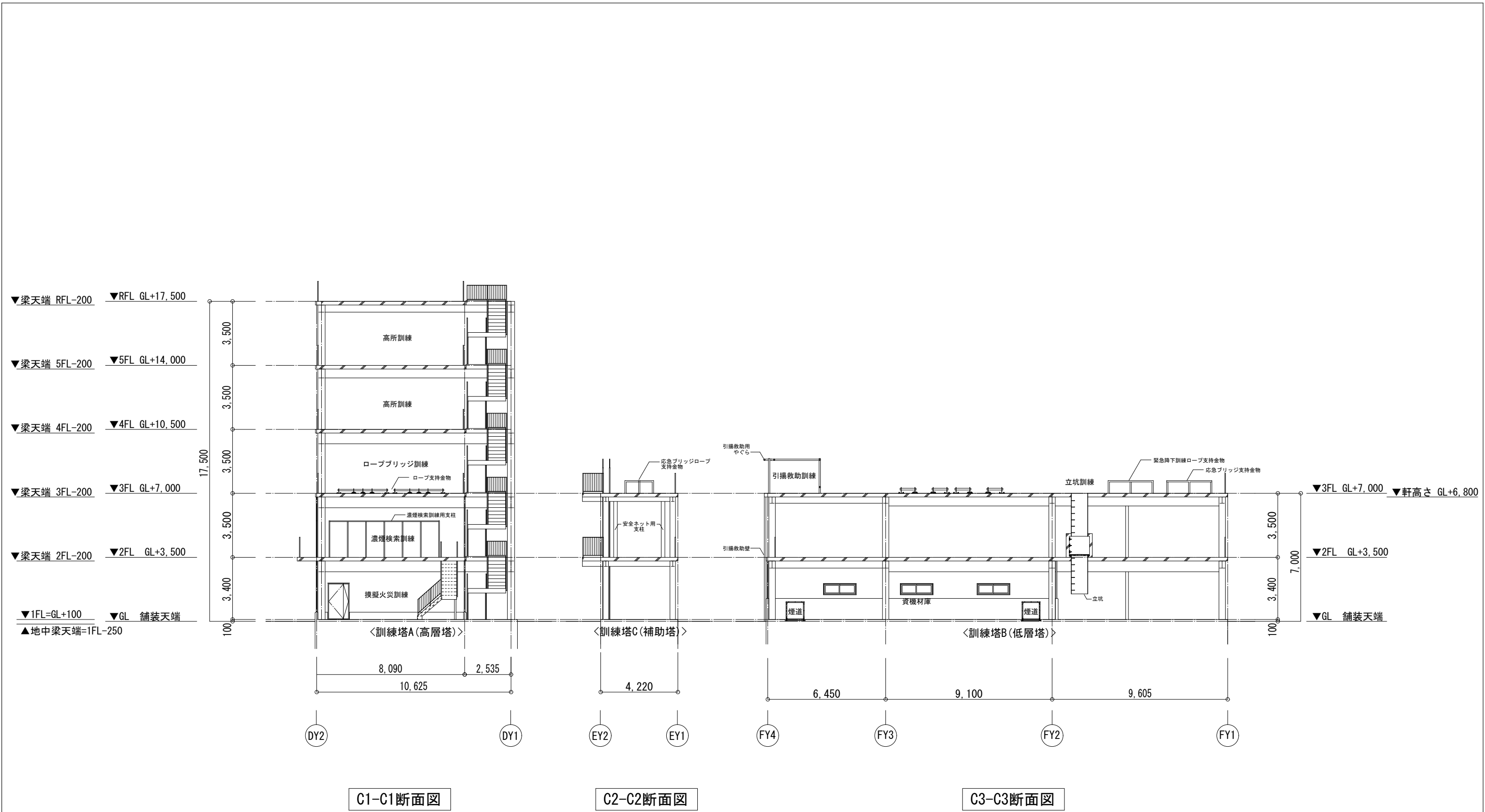
庁舎棟	: 設計GL=18.600	平均GL=18.626
防災倉庫	: 設計GL=18.600	平均GL=18.800
第二車庫	: 設計GL=18.600	平均GL=18.450
訓練塔A	: 設計GL=18.100	平均GL=18.100
訓練塔B	: 設計GL=18.100	平均GL=18.100
訓練塔C	: 設計GL=18.100	平均GL=18.100
給油施設上屋	: 設計GL=18.400	平均GL=18.100
駐車場上屋	: 設計GL=19.000	平均GL=19.000



<div>一級建築士事務所 東京都登録第4539号</div> <div><div>株式会社 楠山設計</div><div>東京都千代田区神田小川町三丁目20番地</div></div>	意匠設計	構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯 屋 園 耕 一	設備設計	設備設計一級建築士登録第 号	DATE	TITLE 坂東消防署庁舎建設工事			
		一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹		一級建築士登録第 271669 号 飯 屋 園 耕 一	設備設計一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹		SUBTITLE 庁舎 断面図	SCALE A1: S=1/100 A3: A1×1/2	DRAWN NO. 設計図 機械 M - 003







給排水設備 凡 例		図面に特記事項が有る場合はそれによる。		
記 号	名 称	系 統	種 別 (備考)	
	給 水 管	屋内・ピット	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB) 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742 ※器具接続部	
		埋設	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD) 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742 ※器具接続部	
	雑用水管	屋内・ピット	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VA) 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742 ※器具接続部	
		埋設	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VD) 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742 ※器具接続部	
	給湯管 (往)	屋内	ステンレス管 (SUS304) 拡張式 JIS G 3448	
	給湯管 (還)	屋外	ステンレス管 (SUS304) 拡張式 JIS G 3448	
	屋内汚水管	屋内	耐火被覆二層管 (FDPD) 、硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	屋内雑排水	ピット・埋設	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
		屋内	耐火被覆二層管 (FDPD) 、硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	屋外雑排水	ピット・埋設	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	通気管	埋設	硬質塩ビライニング管 (VP) JIS G 6741	
		屋内	耐火被覆二層管 (FDPD) 、硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	消火管 (屋内消火栓)	ピット	硬質塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	消火管 (連絡送水管)		配管用炭素鋼鋼管 (白) JIS G 3452	
	ガス管		(地中埋設) 消火用硬質塩化ビニル外被覆鋼管 (STPG370VS-sch40) WSP 041 (上記以外) 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370-sch40) JIS G 3454	
	消火管 (採水管)	配管用炭素鋼鋼管		
	水栓 (水)	屋内・ピット	硬質塩ビライニング鋼管 (SGP-VA) JWWA K 116 フラッシュ付塩ビライニング鋼管 (SGP-FVA) WSP 011 ※100A以上	
		埋設	屋外消火設備用高性能ポリエチレン管	
	水栓 (湯)			
	水栓 (混合)			
	シャワー (混合)			
	フラッシュバルブ			
	水栓柱		SUS製 900H	
	散水栓	壁埋込	SUS製 BOX、BAV共	
	ゲート弁、ストップ弁		50A以下：ボール弁 (BAV) 65A以上：バタフライ弁 (BV)	
	チャッキ弁			
	可とう継手		SUS製 ベローズ製	
	防振継手		ゴム製	
	Y型ストレーナー			
	安全弁			
	吸排気弁 自動エア抜き弁		硬質塩ビライニング鋼管 (SGP-VA) JWWA K 116 フラッシュ付塩ビライニング鋼管 (SGP-FVA) WSP 011 ※100A以上	
	湧水継手			
	床下掃除口			
	床上掃除口		OJA、OJB	
	床排水金物		C、D	
	共栓付排水金物			
	間接排水口			
	配管トラップ		フロートボール式	
	埋設井		JIS 10K、JIS SK	
	汚水罫		防臭蓋付	
	雨水罫		防臭蓋付	
	トラップ罫		防臭蓋付	
	集水罫			
	通気金物		SUS製	

空調換気設備 凡 例		図面に特記事項が有る場合はそれによる。	
記 号	名 称	種 別 (備考)	
	給気風道 (矩形・内形)	一般：亜鉛鉄板製 (共板工法)	
	還気風道 (矩形・内形)	屋外露出：ステンレス製	
	外気風道 (矩形・内形)		
	給気風道 (矩形・内形)	一般：亜鉛鉄板製 (共板工法) 屋外露出：ステンレス製 (SUS430) シャワー室・浴室：ステンレス製 (SUS430) 厨房：ステンレス製 (アングル工法、SUS430) 又は、亜鉛鉄板製	
	風量調整ダンパー		
	チャッキダンパー		
	防火ダンパー		
	防火ダンパー (風量調整機能付き)		
	防煙ダンパー		
	排気風道 (矩形・内形)	ロックウール50mm巻き	
	吹出口	樹脂製、銅製、アルミ製 (指定色焼付塗装)	
	吸込口	樹脂製、銅製、アルミ製 (指定色焼付塗装)	
	天井扇		
	有圧扇		
	全熱交換用換気扇		
	ラインファン・片吸込シロッコファン		
	フィルターユニット		
	たわみ継手	ピアノ線入り	
	ベントキャップ	SUS製 (防鳥ガバリ) 指定色焼付塗装 ※給食室は系統は防虫網 ※雨樋外の場合は深型とする	
	冷媒管	冷媒用被覆銅管 (液管10mm、ガス管20mm保温) 30番発泡	
	ドレン管	屋内横引：耐火被覆二層管 (FDPD) 屋内壁管・P S内壁管・区画貫通部前後1m以上：排水用耐火二層管 (FDP) 屋外：カラー塩ビ管 ピット内：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS G 6741	
	ゲート弁、ストップ弁		
	チャッキ弁	50A以下：ボール弁 (BAV) 65A以上：バタフライ弁 (BV)	

- 特記事項
1. 建築設備の設置は令129条の2の3及び平12建告1388号、1389号に定める構造とすること。
 2. 排水設備は建築基準129条2の4及び告示550年1597号に準拠したものとする。
 3. 給水設備は水道法16条に準拠したものとする。
 4. 防火区画及び防火上主要な開仕切り等を貫通する部分の配管は、建築基準法に定められた下記のいずれかの構造とする。
 - 1) 貫通部とその両側1m以内の部分は不燃材料とし、躯体とのおすき間はモルタル等の不燃材を充填する。
 - 2) 国土交通大臣の認定を受けた工法による。(耐火二層管)
国土交通大臣認定工法 P S-060 F L-0270 (床) P S-060 W L-0272 (壁) P S-060 W L-0312 (中空壁)
国土交通大臣認定工法 P S-060 F L-9369 (床) P S-060 W L-9370 (壁)
 5. 給水器具は全て吐出空間を確保する事。
 6. 排水設備は下水道法10条に準拠したものとする。
 7. 排水管径選定はSHASE-S 206-2009に準拠する。
 8. 屋外排水勾配は1.5/100～2.0/100とする。屋内排水勾配は1.0/100～1.0/50とする。
 9. 排水トラップの設置及びその構造は建築基準法に基づく告示「昭50建告1597号第2三号」の規定に適合するものとする。
 10. 屋外に設ける排水栓は逆流防止弁付とする。
 11. 給湯器の据付は建築基準法に基づく告示「平24建告1447号」の規定に適合するものとする。
 12. ガス設備はガス事業法 (昭和四十九年法律第51号) 第40条の4及び「ガス機器の設置基準及び実務指針」の規定に適合するものとする。
 13. 給水装置の構造、及び材質の基準は、厚生労働省令第15号に準拠したものとする。
 14. 通気管の設置及びその構造は建築基準法に基づく告示「昭50建告1597号第2五号」の規定に適合するものとする。
 15. 屋外露出の排水配管は保通施工 (SUSラッキング工法) による。
 16. 屋上に設置する設備機器はダブルナットで固定とする。
 17. 床置型給湯器の排水は間接排水とする。
 18. 排水通気管の開放位置は建物の開口より水平距離3m以上又は0.6m高い位置とする。
 19. 内装制限を設ける部分のダクトの室内に露する部分は不燃材料とする。
 20. ガス給湯器は不完全燃焼防止装置付とする。電気温水器は過電流防止装置付とする。

機 器 表

機 器 番 号	機 器 名 称 (系 統 名)	型 式	室 外 機									室 内 機													非 常 電 源	イン ター ロック・運 動	遠 方				コン クリ ート基礎 (建築工事)	防振装置 G:ゴム S:スプリング P:ゴムパット	備 考
			設 置 階	台 数	呼称能力 HP	冷房能力 kW	暖房能力 kW	消費電力 (50Hz) kW	電 源		設 置 階	台 数	呼称能力 HP	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送 風 機		消費電力 (50Hz) kW	電 源		起 動 方 式	加湿量 kg/h	フ ィ ル タ ー										
									相 φ	電 圧 V						送風量 m³/h	機外静圧 Pa		相 φ	電 圧 V													
EHP-1-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン (1Fホール・署長室系統)	ビル用マルチ室外機	RF	1	10.0	28.0	31.5	9.1/9.6	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	300H	S			
EHP-1-1-1	ホール	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	2.5	7.1	8.0	1,320	-	0.072	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-1-2	防災相談室1,2	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	1.0	2.8	3.2	750	-	0.028	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-1-3	署長室	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	1	1.25	3.6	4.0	750	-	0.028	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2	空冷ヒートポンプパッケージエアコン (1F 諸室系統)	ビル用マルチ室外機	RF	1	22.0	61.5	69.0	21.8/25.7	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	300H	S			
EHP-1-2-1	資機材庫	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	1.25	3.6	4.0	750	-	0.028	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-2	出勤準備室	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	1.6	4.5	5.0	720	100	0.09	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-3	救急消毒室・トレーニング室	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	1.0	2.8	3.2	750	-	0.028	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-4	食堂	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	2	2.5	7.1	8.0	1,320	-	0.072	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-5	厨房	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	1	2.8	8.0	8.0	1,140	-	0.127	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-6	洗濯室（女）	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	1	0.8	2.2	2.5	630	-	0.031	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-1-2-7	洗濯室（男）	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	1F	1	1.0	2.2	3.2	750	-	0.028	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-2-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン (2F 系統)	ビル用マルチ室外機	RF	1	18.0	50.0	56.0	16.6/15.3	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	300H	S			
EHP-2-1-1	外気処理	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	2F	1	5.0	14.0	8.9	1,080	250	0.41	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1 24h運転		
EHP-2-1-2	ホワイエ	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	2F	1	3.2	9.0	10.0	1,380	100	0.13	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
EHP-2-1-3	女性エリア	室内機	-	-	-	-	-	-	-	-	2F	2	1.25	3.6	4.0	690	-	0.039	1	200	直入	-	ロングライフ	-	-	○	○	○	-	G	リモコンx1		
ACP-C-1	集中リモコン (EHP用)	モニター付集中リモコン 個別・一括の運転・停止・異常内容表示 スケジュールタイマ機能付	1F	-																													

<EHP・PAC共通事項>		
1) 許容騒音値測定法はJIS B 8330 による。	8) 室外機：冷房暖房能力は室内機能力計以上の能力とする。	16) 吊りボルトの長さが300mm以上の場合は撤れ止めを行うこと。
2) 室内機には点検口を設置する。(メーカー指定点検口寸法にて)(建築工事)	9) 室外機基礎1次鋼材は建築工事とする。2次鋼材は建築工事とする。	17) コンクリート基礎は建築工事とする。
3) 能力・消費電力は：JRA4002：2013Rによる条件(冷房時：室内側27℃DB 19℃WB 外気温度35℃DB Bに準じて運転した場合の値である。 暖房時：室内側20℃DB 外気温度7℃DB、6℃WB 暖房低溫時：室内側20℃DB、外気温度2℃DB、1℃WB	10) 室外機：指定色塗装とする。	
4) 室外機：スプリング防振梁台・風向調整板・アクティブフィルター・圧力計・室外機連結配管キットを機器付風呂とする。	11) 室内機：天カセタイプ(化粧パネル(指定色))とする。	
5) 室内機：防振印金具・フレニアップメカ・リモコンスイッチ(フイヤード)・分岐管・遠方発停アダプターを機器付風呂とする。	12) グリーン購入法調達基準適合品とする。	
6) 各室内機にはリモコンスイッチを取付を行う。(配管・配線失) 室外機～室内機の渡り配線は冷媒管共巻とする。	13) 機器仕様については東京都仕様とする。	
7) 冷媒：R410Aとする。	14) 屋外機は全てインバータ仕様とする。	
	15) 高調波対策について換算係数は1.8以下を選定すること。	

機器表

[illegible]

＜EHP・PAC共通事項＞		
1) 許容騒音値測定法は、JIS B 8330 による。	8) 室外機：冷房暖房能力は室内機能力計以上の能力とする。	16) 吊りボルトの長さが300mm以上の場合は覆れ止めを行うこと。
2) 室内機には点検口を設置する。（メーカー指定点検口寸法にて）（建築工事）	9) 室外機基礎：1次鋼材は建築工事とする。2次鋼材は建築工事とする。	17) コンクリート基礎は建築工事とする。
3) 能力、消費電力は：JRA4002：2013Rによる条件（冷房時：室内側27℃DB 19℃WB 外気温度35℃DB Bに準じて運転した場合の値である。 暖房時：室内側20℃DB 外気温度7℃DB、6℃WB 暖房低湿時：室内側20℃DB、外気温度2℃DB、1℃W	10) 室外機：指定色塗装とする。	
4) 室外機：スプリング防震架台・風向調整板・アクティブフィルター・圧力計・室外機連結配管キットを機器付属品とする。	11) 室内機：天カセタイプ（化粧パネル（指定色））とする。	
5) 室内機：防震吊金具・ドレンアップメカ・リモコンスイッチ（ワイヤード）・分岐管・遠方発停アダプターを機器付属品とする。	12) グリーン購入法調達基準適合品とする。	
6) 各室内機にはリモコンスイッチを取付を行う。（配管・配線共） 室外機へ室内機の通り配線は冷暖管共巻とする。	13) 機器仕様については東京都仕様とする。	
7) 冷暖：R410Aとする。	14) 屋外機は全てインパクト仕様とする。	
	15) 高調波対策について換算係数は1.8以下を選定すること。	

<div><div><div>一級建築士事務所</div><div>東京都登録第4539号</div></div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社 楠山設計</div></div><div>東京都千代田区神田小川町三丁目2 O 番地</div></div></div> <div>意匠設計</div>	一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹	構造設計	構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯 屋 蘭 耕 一	設備設計	設備設計一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹	号	DATE		TITLE 坂東消防署庁舎建設工事	SUBTITLE 空調換気設備 機器表 (2)	SCALE A1 : S=N, S A3 : A1 × 1/2	DRAWN NO. 設計図 機械 M - 103
	一級建築士登録第 271669 号 飯 屋 蘭 耕 一											

機器表

[illegible]

※ 全熱交換器の全熱交換効率、JIS B 8628に規定された定格時のエンタルピー効率とする。

※ 全熱交換器は自動換気切替機能及び余熱時外気取入れ停止機能付きとする。

※ 天井扇の動力は、JIS C 9603で規定された消費電力とする。

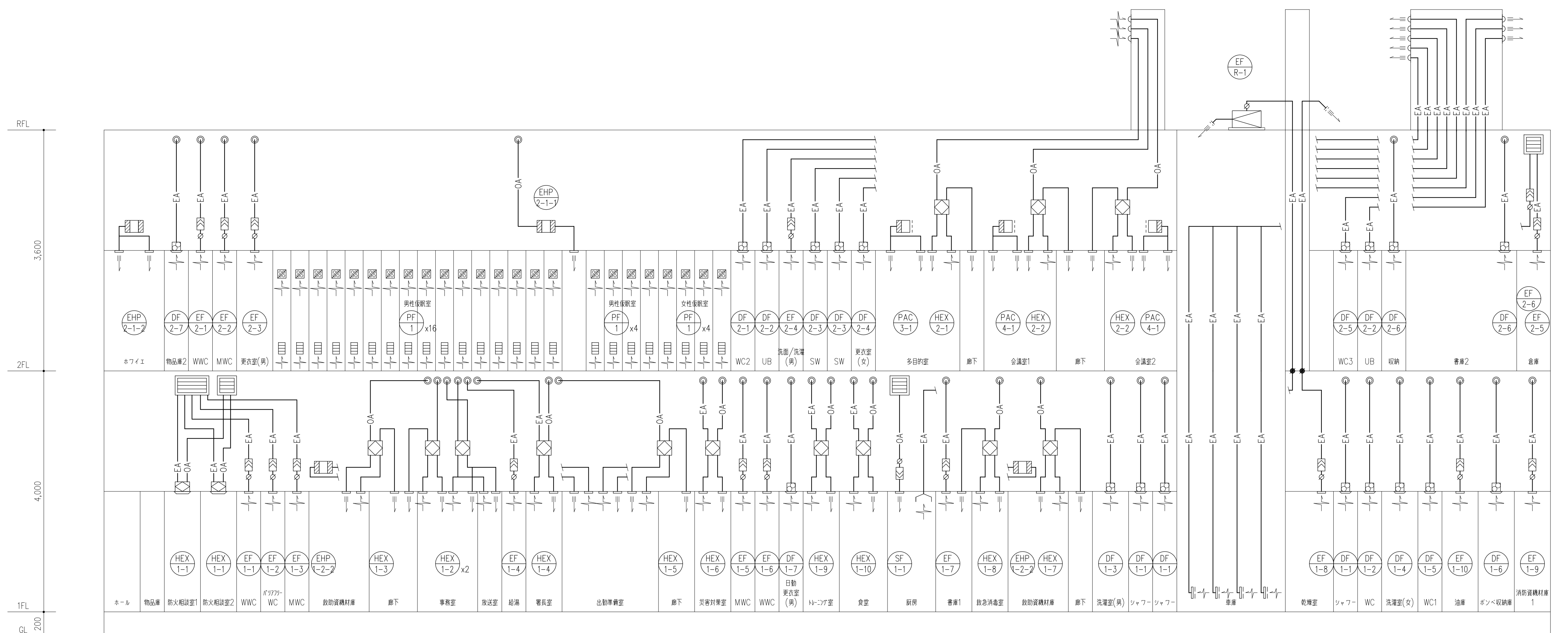
※ 片吸込シロッコファンの動力は、JIS B 8330で規定された電気動力とする。

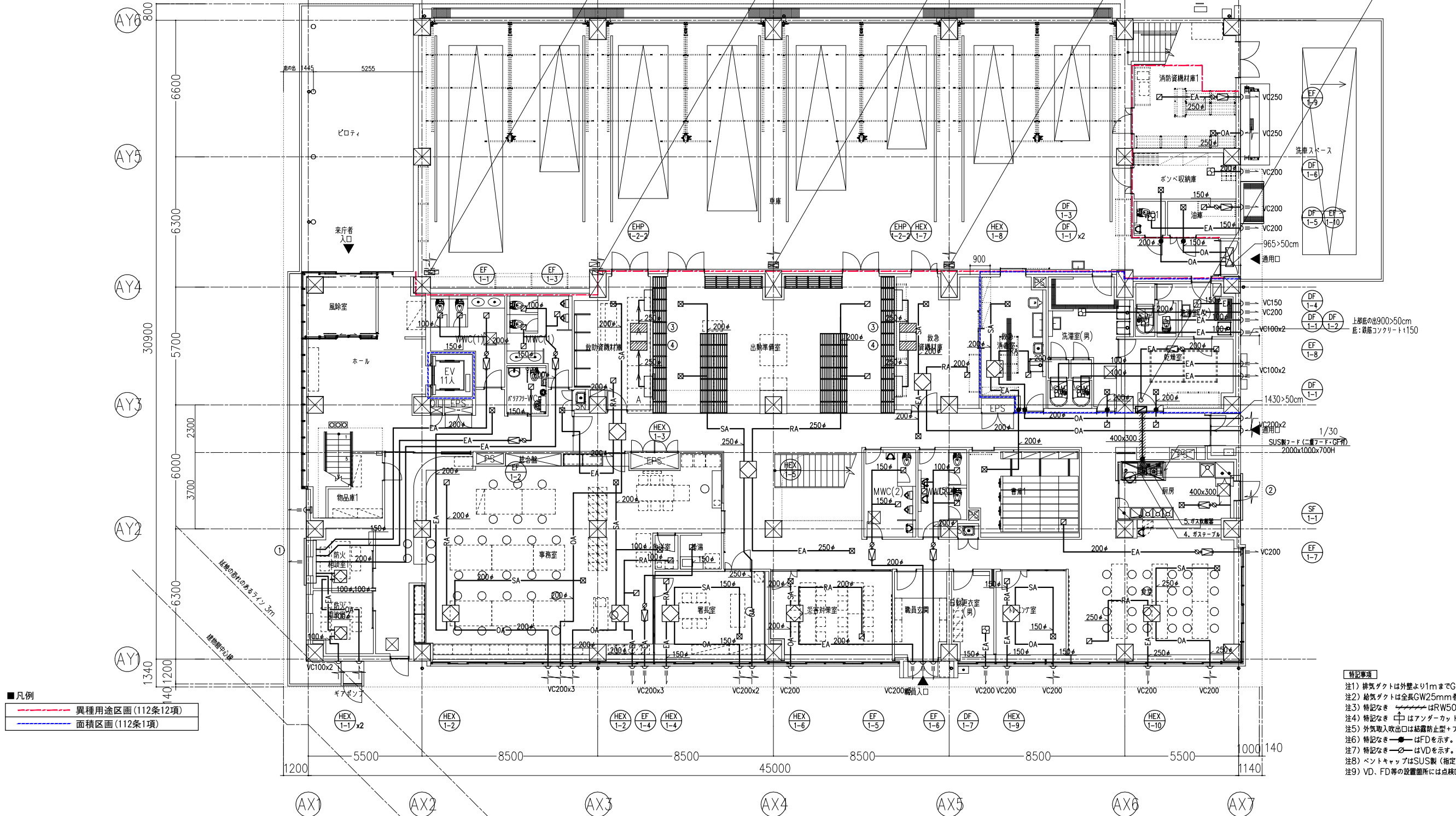
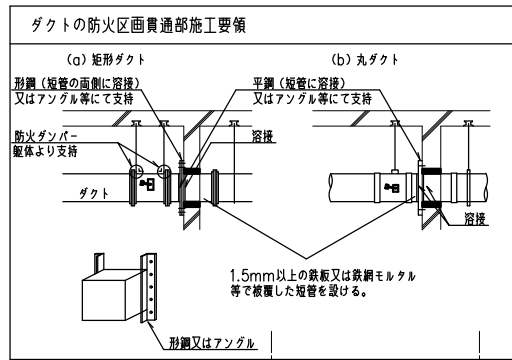
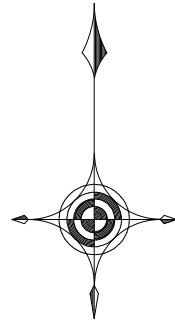
※ ストレートシロッコファンの動力は、JIS C 9603で規定された消費電力とする。

設備設計	設備設計一級建築士登録第	号	DATE		TITLE			
					坂東消防署庁舎建設工事			
	一級建築士登録第 301497 号				SUBTITLE	SCALE	DRAWN NO.	
	高橋 徹				空調換気設備 機器表 (3)	A1: S=N, S A3: A1×1/2	設計図 機械 M - 104	

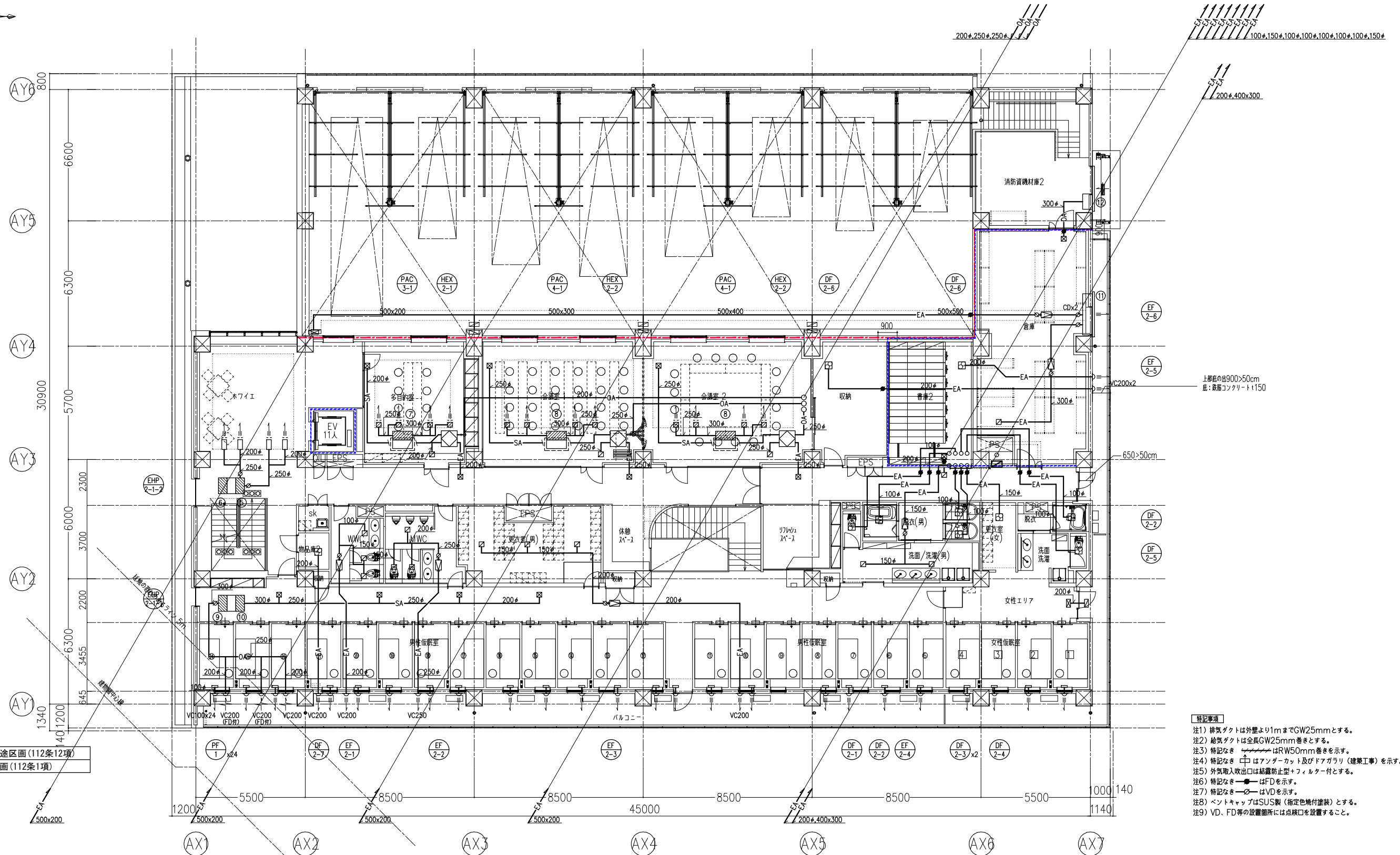
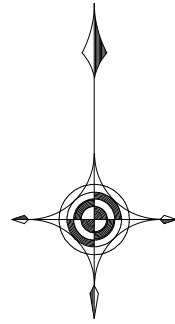
機器表

[illegible][illegible]

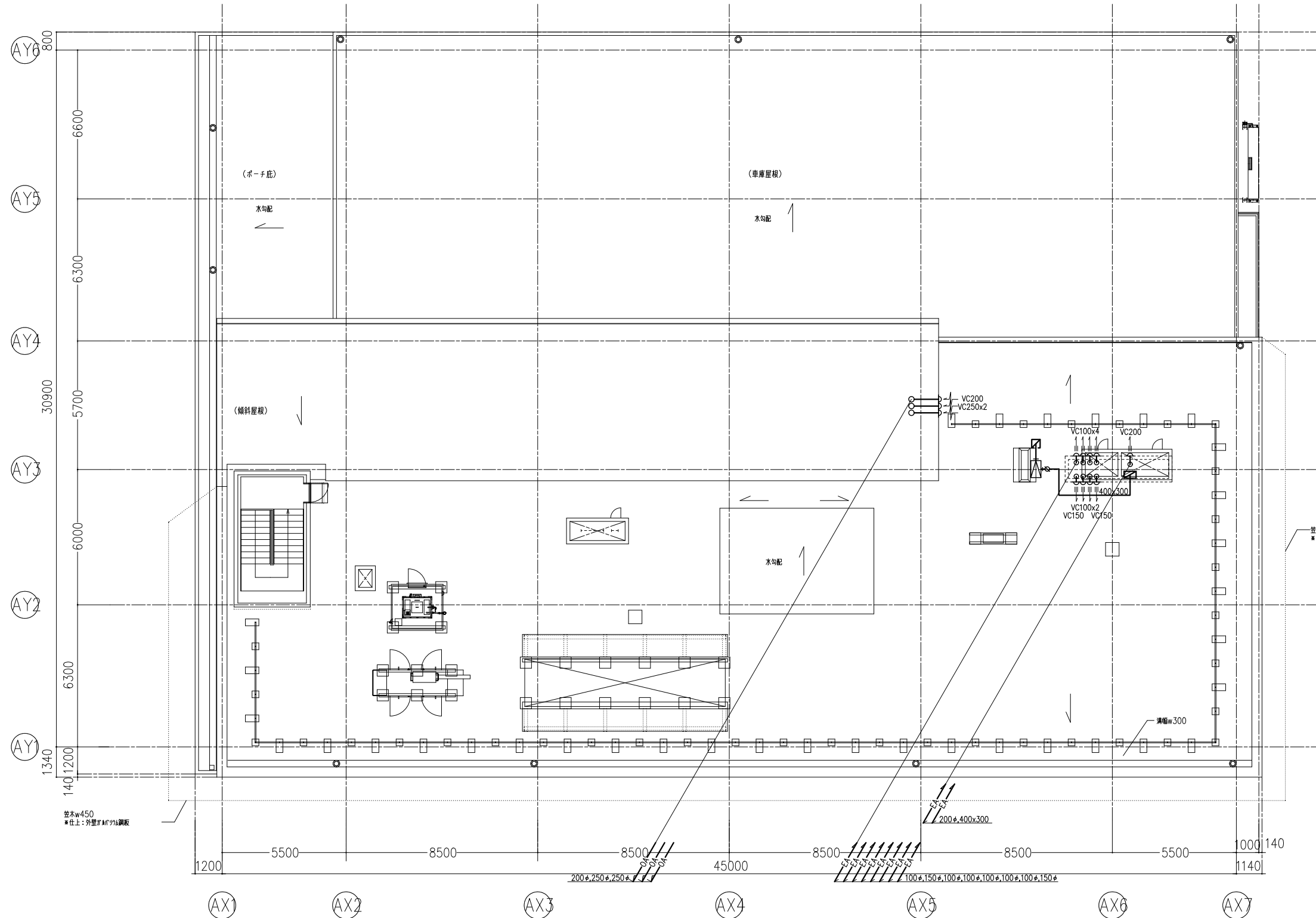
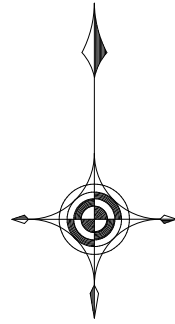




- 【特記事項】
- 注1) 排気ダクトは外壁より1mまでGW25mmとする。
- 注2) 給気ダクトは全長GW25mm巻きとする。
- 注3) 特記なきはRW50mm巻きを示す。
- 注4) 特記なきはアンダーカット及びドアガラリ（建築工事）を示す。
- 注5) 外気取入吹出口は結露防止型＋フィルター付とする。
- 注6) 特記なきはFDを示す。
- 注7) 特記なきはVDを示す。
- 注8) ベントキャップはSUS製（指定色焼付塗装）とする。
- 注9) VD、FD等の設置箇所には点検口を設置すること。



- 【特記事項】
- 注1) 排気ダクトは外壁より1mまでGW25mmとする。
注2) 給気ダクトは全長GW25mm巻きとする。
注3) 特記なきはRW50mm巻きを示す。
注4) 特記なきはアンダーカット及びドアガラリ(建築工事)を示す。
注5) 外気取入吹出口は結露防止型+フィルター付とする。
注6) 特記なきはFDを示す。
注7) 特記なきはVDを示す。
注8) ペントキャップはSUS製(指定色焼付塗装)とする。
注9) VD、FD等の設置箇所には点検口を設置すること。



- 【特記事項】
- 注1) 排気ダクトは外壁より1mまでGW25mmとする。
注2) 給気ダクトは全長GW25mm巻きとする。
注3) 特記なき はRW50mm巻きを示す。
注4) 特記なき はアンダーカット及びドアガラリ（建築工事）を示す。
注5) 外気取入吹出口は結露防止型＋フィルター付とする。
注6) 特記なき はFDを示す。
注7) 特記なき はVDを示す。
注8) ペントキャップはSUS製（指定色焼付塗装）とする。
注9) VD、FD等の設置箇所には点検口を設置すること。

制 気 口 リ ス ト

* 区别 ○: 空调设备 ◇: 换气设备

階数	室 名	風量(CMH)		型 式	個数	ボ ッ ク ス	内貼消音		区別	備 考
		吹出口	吸込口				25mm	50mm		
1	WWC		100	HS 150 x 150	3	350 x 350 x 300H	-	-	◇	EF-1-1
1	バリアフリーWC		150	HS 150 x 150	1	350 x 350 x 350H	-	-	◇	EF-1-2
1	MWC		75	HS 150 x 150	4	350 x 350 x 300H	-	-	◇	EF-1-3
1	事務室	355		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-2
1	事務室		355	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-2
1	事務室	305		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-2
1	事務室		305	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-2
1	事務室	50		VHS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-2
1	事務室		50	HS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-2
1	WWC前廊下	355		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-2
1	救助資機材庫	300		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-3
1	救助資機材庫		300	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-3
1	MWC前廊下	300		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-3
1	給湯室		200	HS 200 x 200	1	400 x 400 x 350H	-	-	◇	EF-1-4
1	署長室	100		VHS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-4
1	署長室		100	HS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-4
1	出動準備室	250		VHS 200 x 200	2	400 x 400 x 400H	○	-	◇	HEX-1-5
1	出動準備室		250	HS 200 x 200	2	400 x 400 x 400H	○	-	◇	HEX-1-5
1	出動準備室	720		VHS 600 x 200	2	800 x 400 x 450H	○	○	◇	EHP-1-2-2
1	出動準備室		720	HS 600 x 200	2	800 x 400 x 450H	○	○	◇	EHP-1-2-2
1	廊下	250		VHS 200 x 200	2	400 x 400 x 400H	○	-	◇	HEX-1-5
1	災害対策室	350		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-6
1	災害対策室		350	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-6
1	MWC		135	HS 150 x 150	2	350 x 350 x 350H	-	-	◇	EF-1-5
1	WWC		135	HS 150 x 150	2	350 x 350 x 350H	-	-	◇	EF-1-6
1	救急資機材庫	400		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-7
1	救急資機材庫		400	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-7
1	救急資機材庫	400		VHS 250 x 250	2	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-7
1	救急消毒室	300		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-8
1	救急消毒室		300	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-8
1	書庫	300		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	○	-	◇	HEX-1-8
1	書庫			HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	EF-1-7
1	トレーニング室	100		VHS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-9
1	トレーニング室		100	HS 150 x 150	1	350 x 350 x 300H	○	-	◇	HEX-1-9
1	食堂	500		VHS 300 x 300	1	500 x 500 x 450H	○	-	◇	HEX-1-10
1	食堂		500	HS 300 x 300	1	500 x 500 x 450H	○	-	◇	HEX-1-10
1	厨房	2,200		VHS 600 x 600	1	800 x 800 x 500H	-	-	◇	SF-1-1
1	洗濯室(男)	350		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	廊下		350	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	乾燥室		300	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	EF-1-8
1	乾燥室	300		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	廊下		300	HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	洗濯室(女)		250	VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	廊下	250		HS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	バス
1	油庫	120		VHS 200 x 200	1	400 x 400 x 350H	-	-	◇	外気
1	油庫		120	HS 150 x 150	1	350 x 350 x 350H	-	-	◇	EF-1-10
1	ポンベ収納庫	250		VHS 250 x 250	1	450 x 450 x 400H	-	-	◇	外気
1	消防資機材庫		600	HS 300 x 300	1	500 x 500 x 450H	-	-	◇	EF-1-9
1	消防資機材庫	600		VHS 350 x 350	1	550 x 550 x 450H	-	-	◇	外気
1	車庫		1,500	HS 400 x 800	4	- x - x -	-	-	◇	EF-2-6
1	通用口(軒部分)		370	HS 300 x 300	1	500 x 500 x 400H	-	-	◇	外気バス

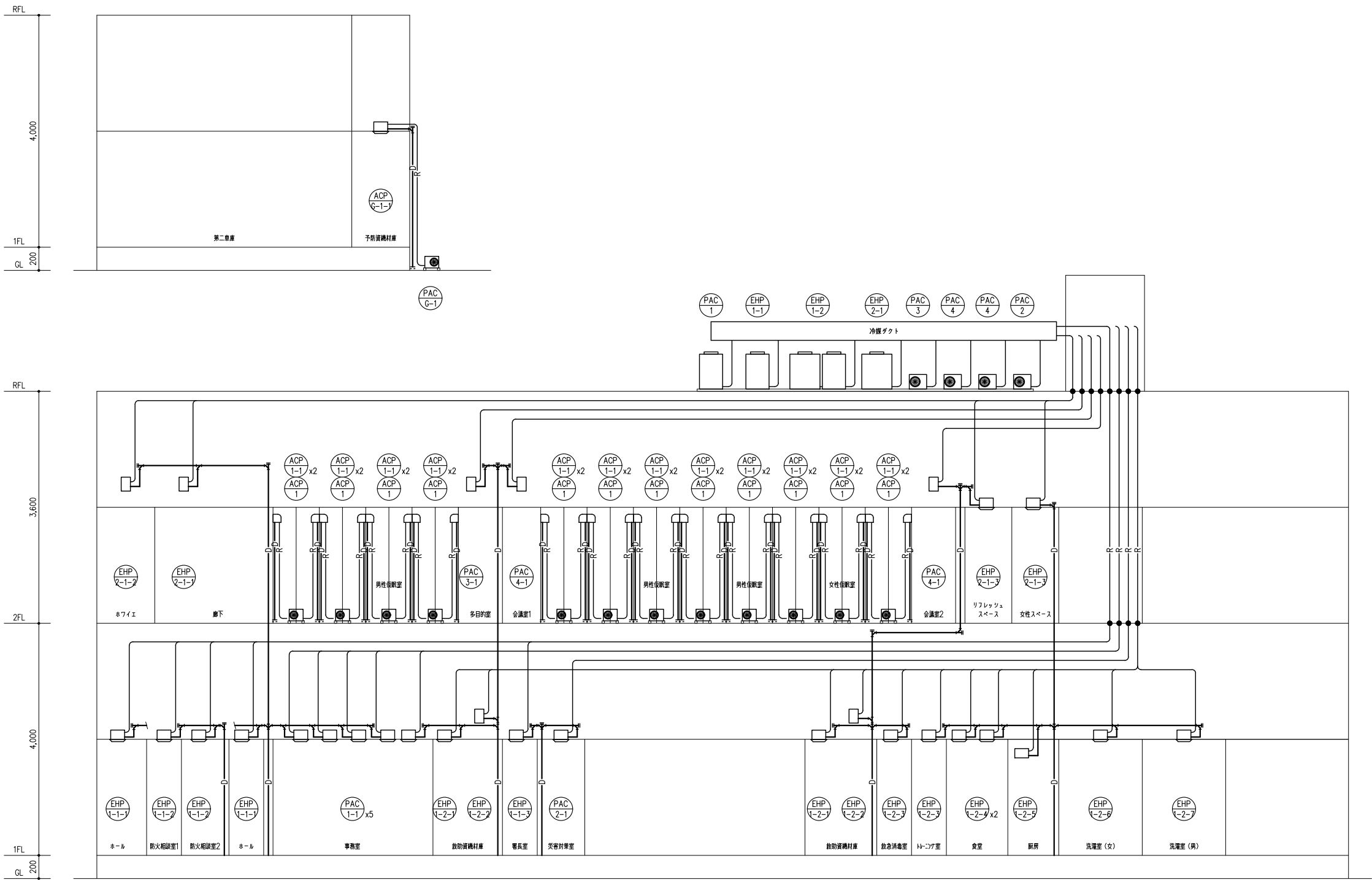
[illegible]

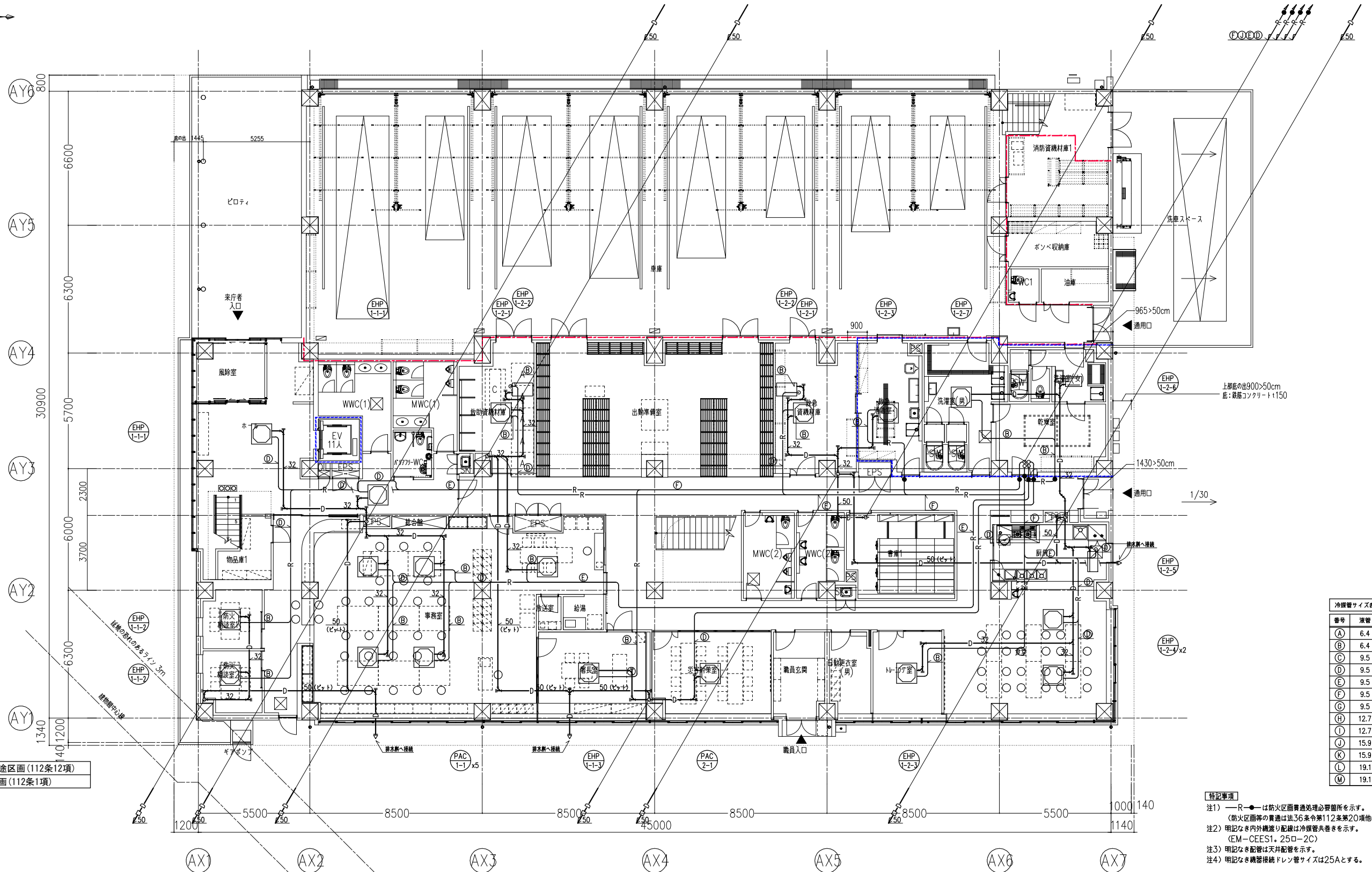
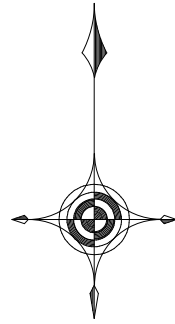
チャンバースト

[illegible]

※ 外気取入れパスの制気口は結露防止型とする。

※ 外気取入れOAはフィルター付(不織布フィルター)とする。

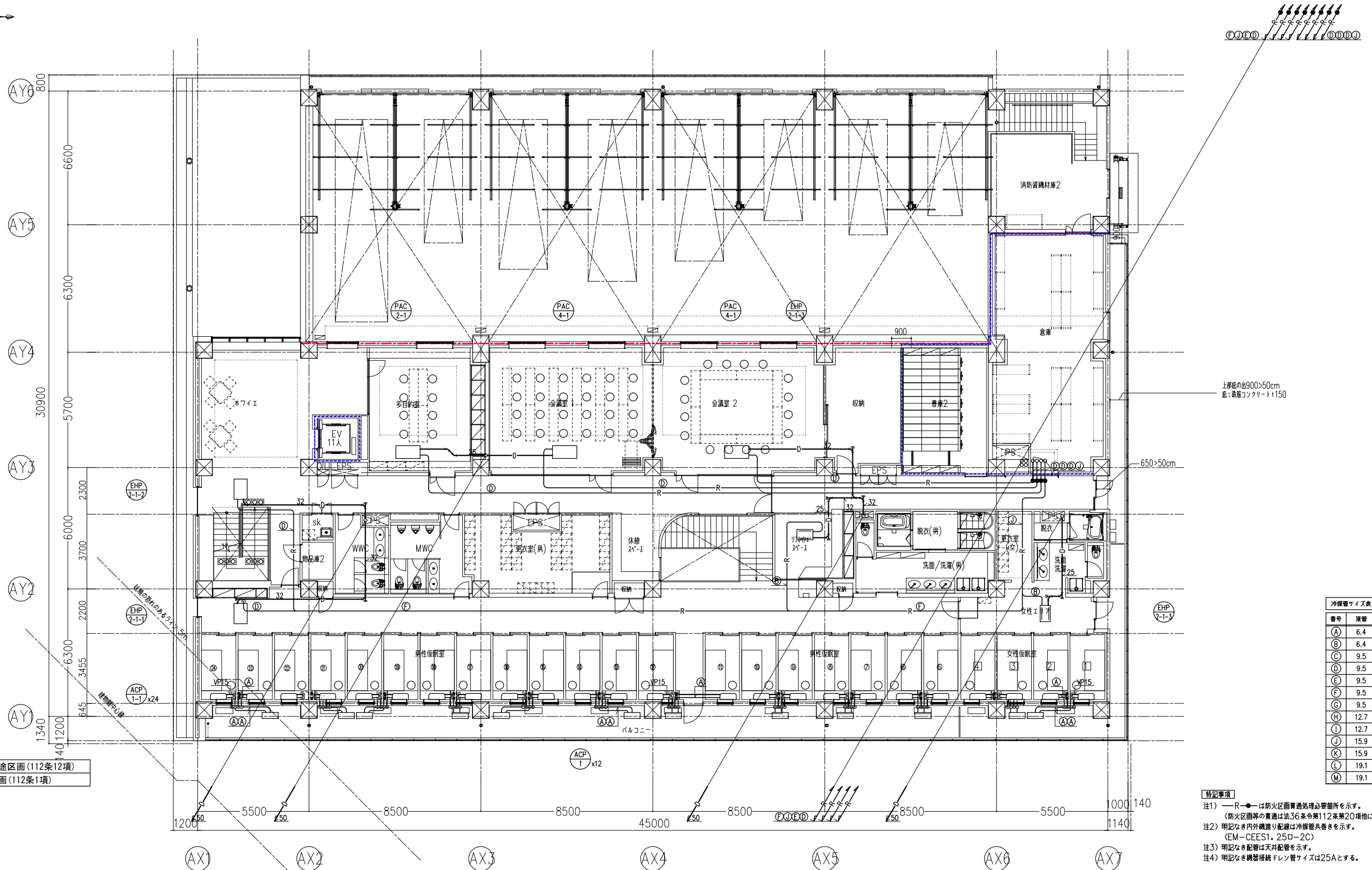
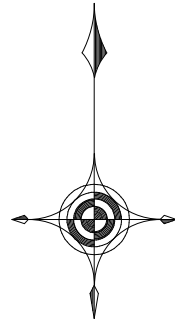




■ 凡例
異種用途区画 (112条12項)
面積区画 (112条1項)

冷暖房サイズ表		
番号	暖房	冷房
(A)	6.4	9.5
(B)	6.4	12.7
(C)	9.5	12.7
(D)	9.5	15.9
(E)	9.5	19.1
(F)	9.5	22.2
(G)	9.5	25.4
(H)	12.7	25.4
(I)	12.7	28.6
(J)	15.9	28.6
(K)	15.9	31.8
(L)	19.1	31.8
(M)	19.1	38.1

- 【特記事項】
- 注1) R—は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
(防火区画等の貫通は法36条第112条第20項他により処理とする。)
- 注2) 明記なき内外機配管は冷暖房共巻きを示す。
(EM—CEES1、25ロ—2C)
- 注3) 明記なき配管は天井配管を示す。
- 注4) 明記なき機器接続ドレン管サイズは25Aとする。

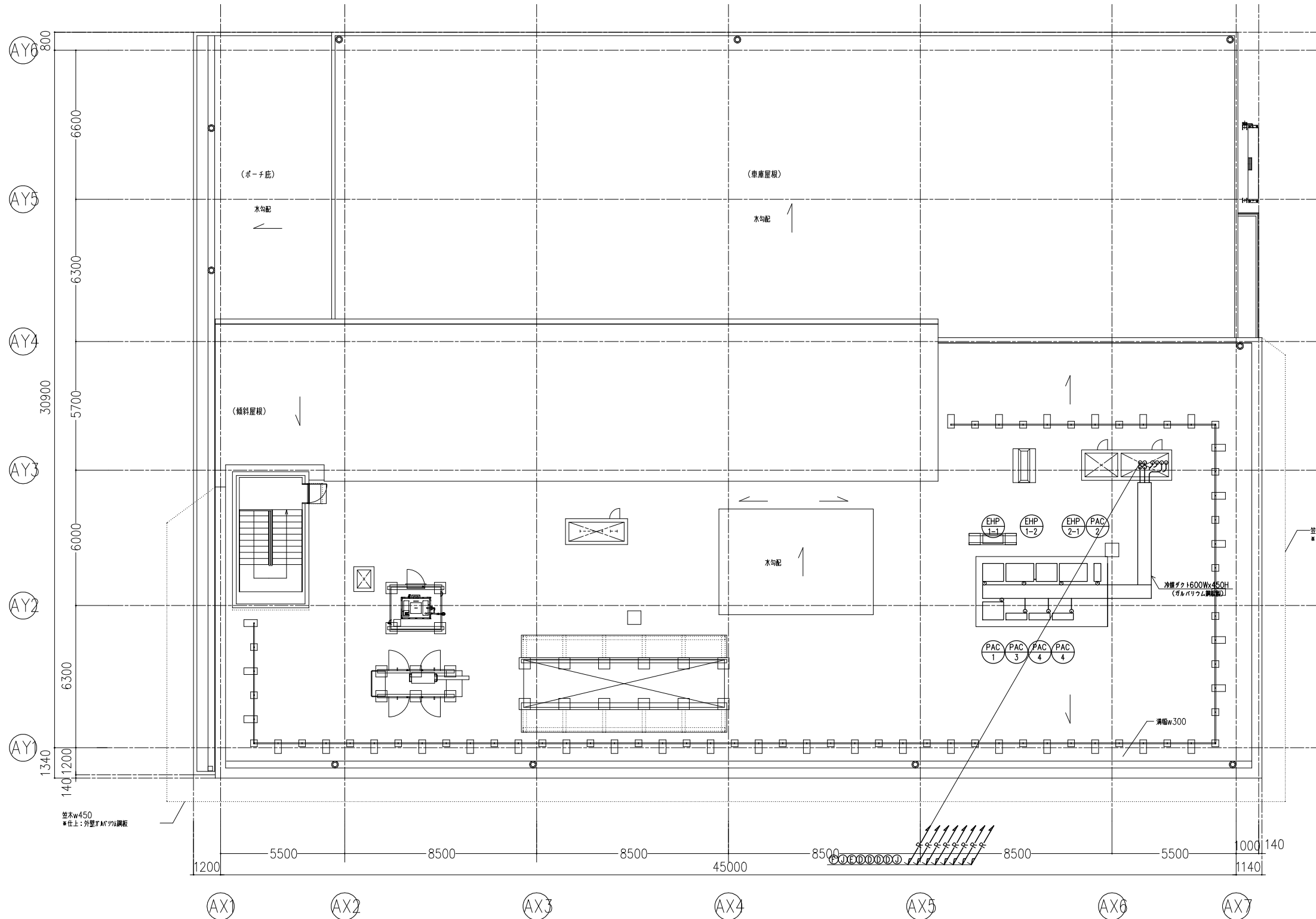
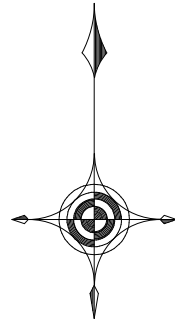


■ 凡例

—●—	異種用途区画 (112条12項)
—	面積区画 (112条1項)

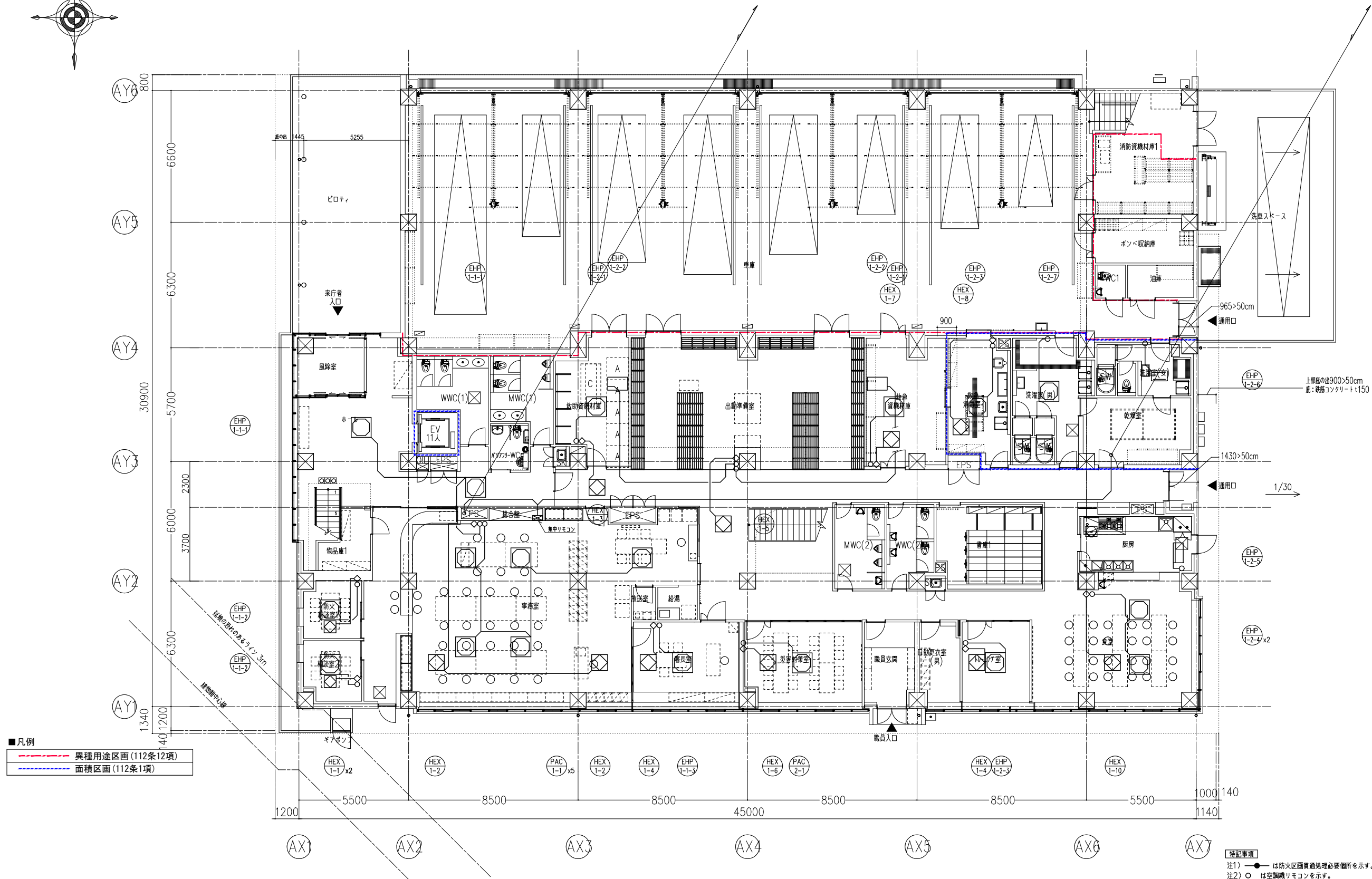
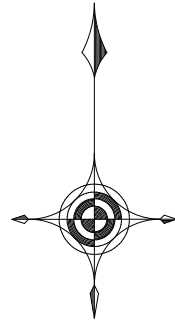
冷媒管サイズ表		
番号	液管	ガス管
(A)	6.4	9.5
(B)	6.4	12.7
(C)	9.5	12.7
(D)	9.5	15.9
(E)	9.5	19.1
(F)	9.5	22.2
(G)	9.5	25.4
(H)	12.7	25.4
(I)	12.7	28.6
(J)	15.9	28.6
(K)	15.9	31.8
(L)	19.1	31.8
(M)	19.1	38.1

【特記事項】
注1) —R—は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
(防火区画等の貫通は法36条令第112条第20項他により処理とする。)
注2) 明記なき内外機張り配線は冷媒管共巻きを示す。
(EM-CEES1、25ロ-2C)
注3) 明記なき配管は天井配管を示す。
注4) 明記なき機器接続ドレン管サイズは25Aとする。



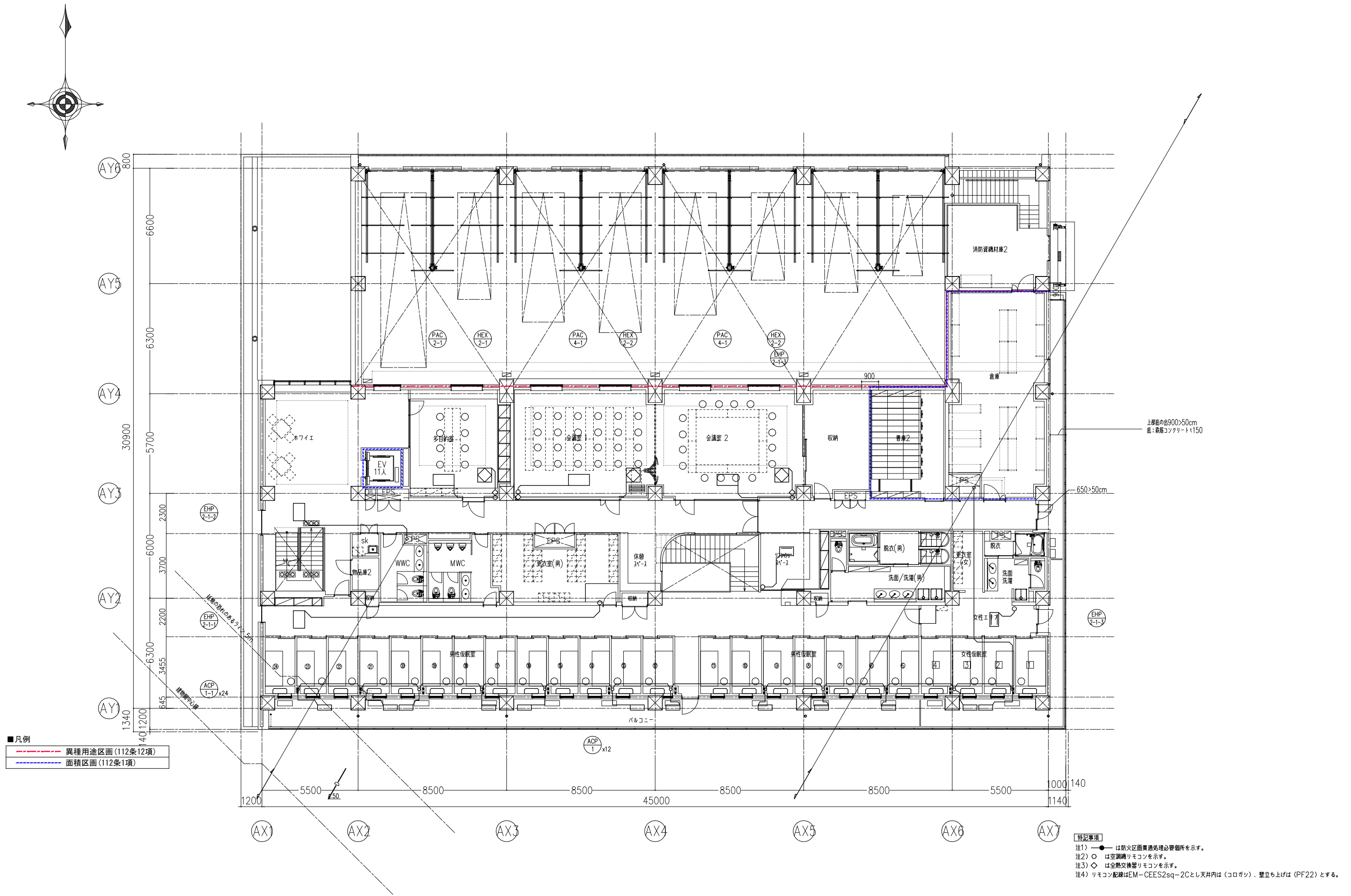
【特記事項】
注1) —R—●—は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
(防火区画等の貫通は法36条令第112条第20項他により処理とする。)
注2) 明記なき内外機渡り配線は冷媒管共巻きを示す。
(EM-CEES1・25ロ-2C)
注3) 明記なき配管は天井配管を示す。
注4) 明記なき機器接続ドレン管サイズは25Aとする。

冷媒管サイズ表		
番号	液管	ガス管
(A)	6.4	9.5
(B)	6.4	12.7
(C)	9.5	12.7
(D)	9.5	15.9
(E)	9.5	19.1
(F)	9.5	22.2
(G)	9.5	25.4
(H)	12.7	25.4
(I)	12.7	28.6
(J)	15.9	28.6
(K)	15.9	31.8
(L)	19.1	31.8
(M)	19.1	38.1



【特記事項】
注1) 〇は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
注2) △は空調機リモコンを示す。
注3) ◇は全熱交換器リモコンを示す。
注4) リモコン配線はEM-CEES2sq-2Cとし天井内は(コロガシ)、壁立ち上げは(PF22)とする。

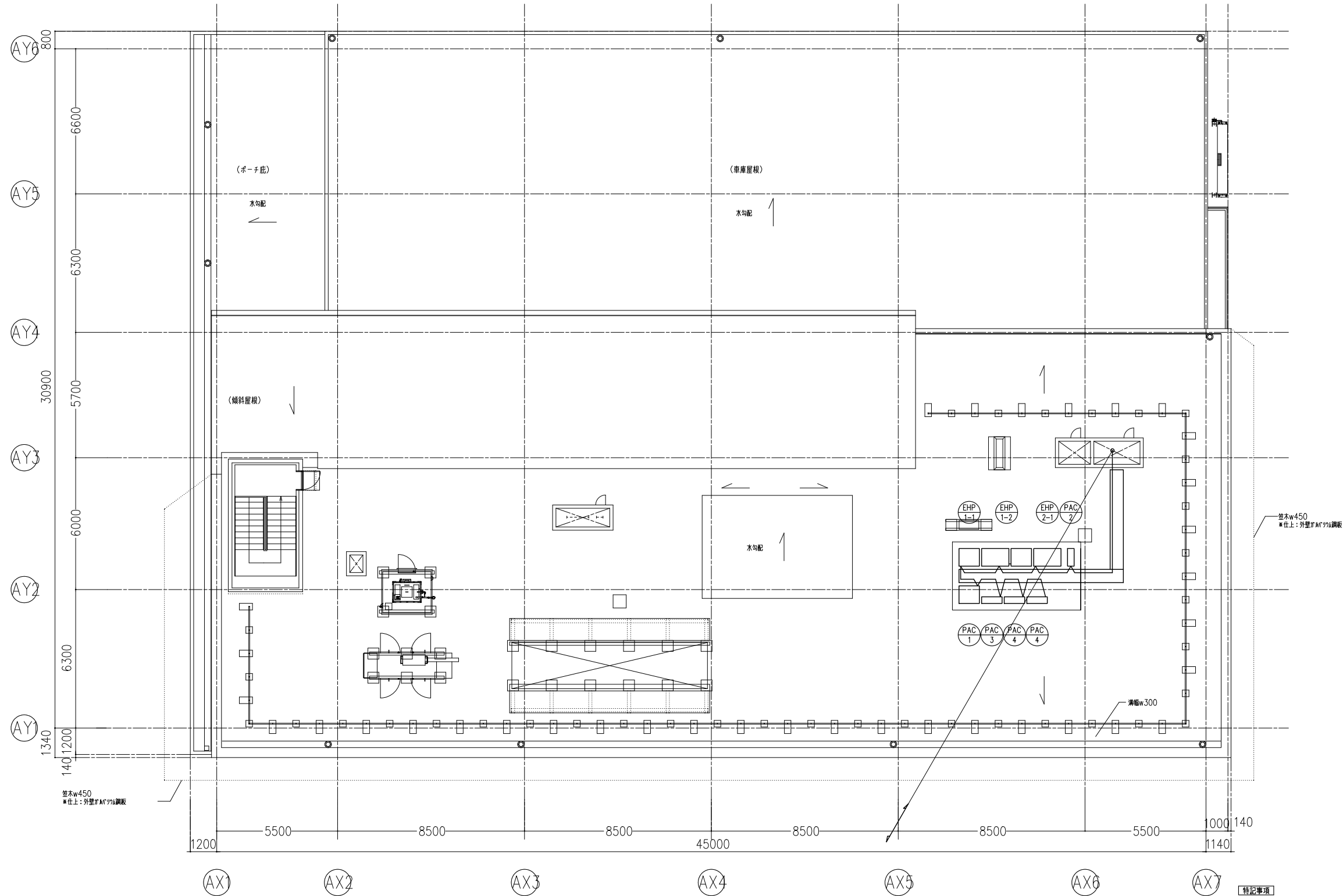
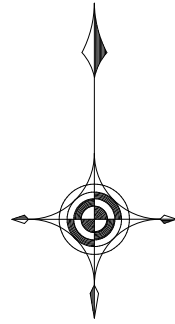
<div><div><div>一級建築士事務所</div><div>東京都登録第4539号</div></div><div><div><div></div><div>株式会社</div><div>楠山設計</div></div></div><div>東京都千代田区神田小川町三丁目2〇番地</div></div> <td rowspan="2">意匠設計</td> <td>構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 蘭 耕 一</td> <td rowspan="2">設備設計</td> <td>設備設計一級建築士登録第 号</td> <td>DATE</td> <td></td> <td>TITLE</td> <td colspan="3"></td>	意匠設計	構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 蘭 耕 一	設備設計	設備設計一級建築士登録第 号	DATE		TITLE			
		一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹		一級建築士登録第 271669 号 飯屋 蘭 耕 一	一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹				坂東消防署庁舎建設工事	SUBTITLE
							自動制御設備 1階平面図	A1: S=1/100 A3: A1×1/2		設計図 機械 M - 115



■凡例
- - - 異種用途区画(112条12項)
- - - 面積区画(112条1項)

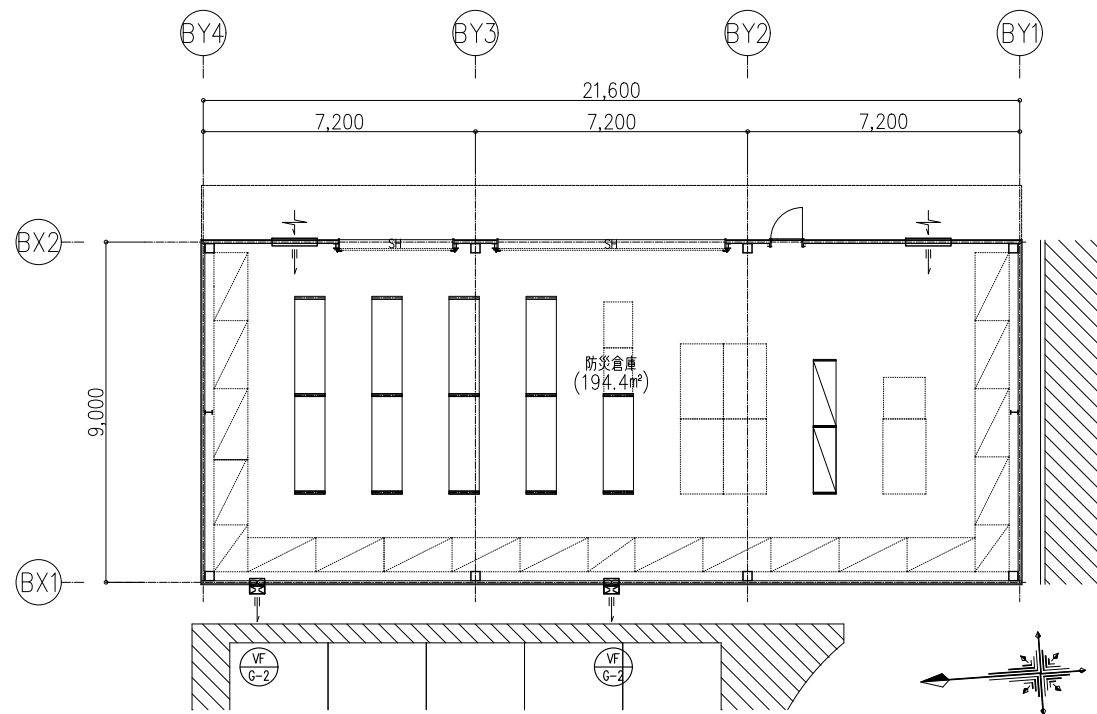
【特記事項】
注1) —●— は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
注2) ○ は空調機リモコンを示す。
注3) ◇ は全熱交換器リモコンを示す。
注4) リモコン配線はEM-CEES2sq-2Cとし天井内は(コログシ)、壁立ち上げは(PF22)とする。

<div>一級建築士事務所</div> <div> 株式会社 楠山設計</div> <div>東京都千代田区神田小川町三丁目20番地</div>	東京都登録第4539号	意匠設計	構造設計	構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 園 耕 一	設備設計	設備設計一級建築士登録第 号	DATE	TITLE 坂東消防署庁舎建設工事		
	一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹			一級建築士登録第 271669 号 飯屋 園 耕 一		一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹		SUBTITLE 自動制御設備 2階平面図	SCALE A1: S=1/100 A3: A1×1/2	DRAWN NO. 設計図 機械 M - 116

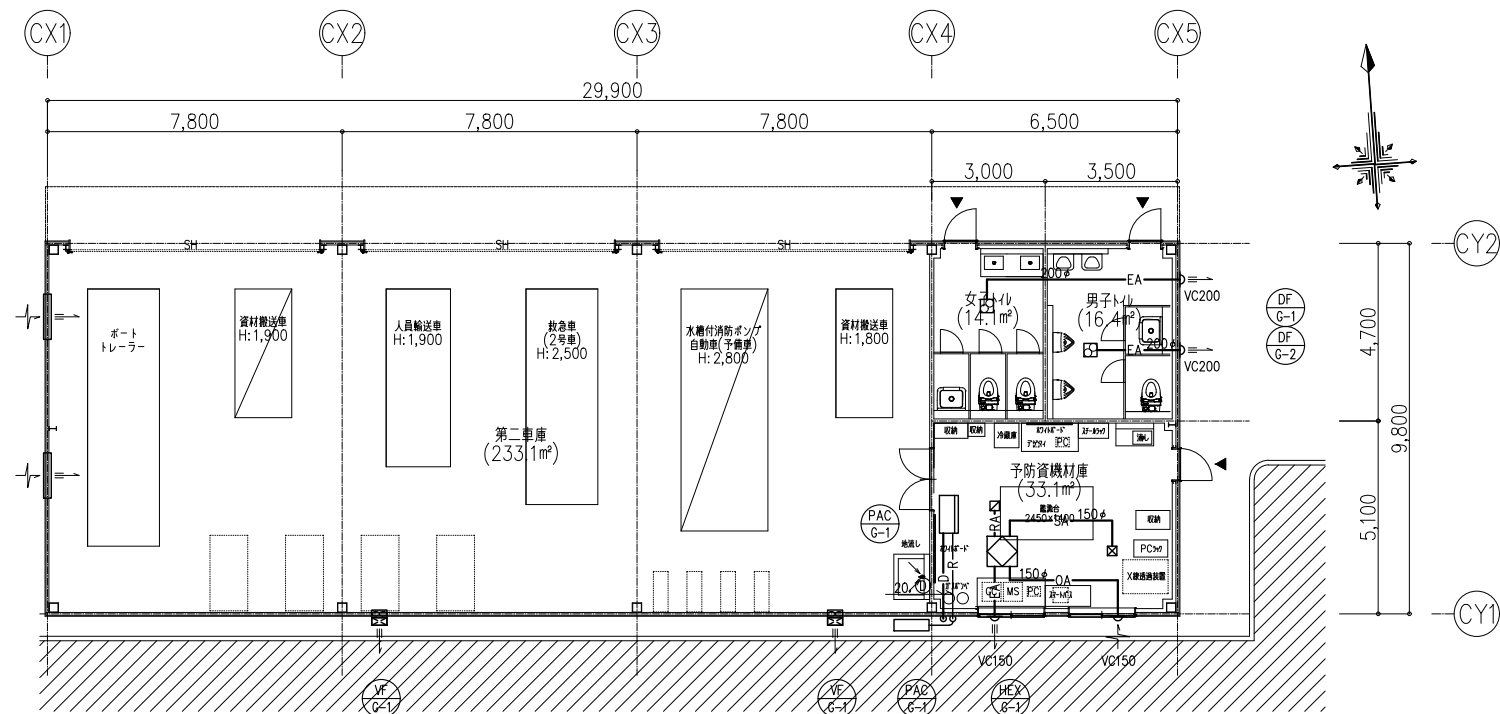


【特記事項】
注1) ● は防火区画貫通処理必要箇所を示す。
注2) ○ は空調機リモコンを示す。
注3) ◇ は全熱交換器リモコンを示す。
注4) リモコン配線はEM-CEES2sq-2Cとし天井内は(コログシ)、壁立ち上げは(PF22)とする。

<div>一級建築士事務所</div> <div>東京都登録第4539号</div> <div>株式会社 楠山設計</div> <div>東京都千代田区神田小川町三丁目20番地</div>	意匠設計	構造設計	構造設計一級建築士登録第 6676 号 仮屋 園 耕 一	設備設計	設備設計一級建築士登録第 号	DATE	TITLE 坂東消防署庁舎建設工事	SUBTITLE 自動制御設備 3階平面図	SCALE A1: S=1/100 A3: A1×1/2	DRAWN NO. 設計図 機械 M - 117
			一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹		一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹					



防災倉庫 平面図



第二車庫 平面図

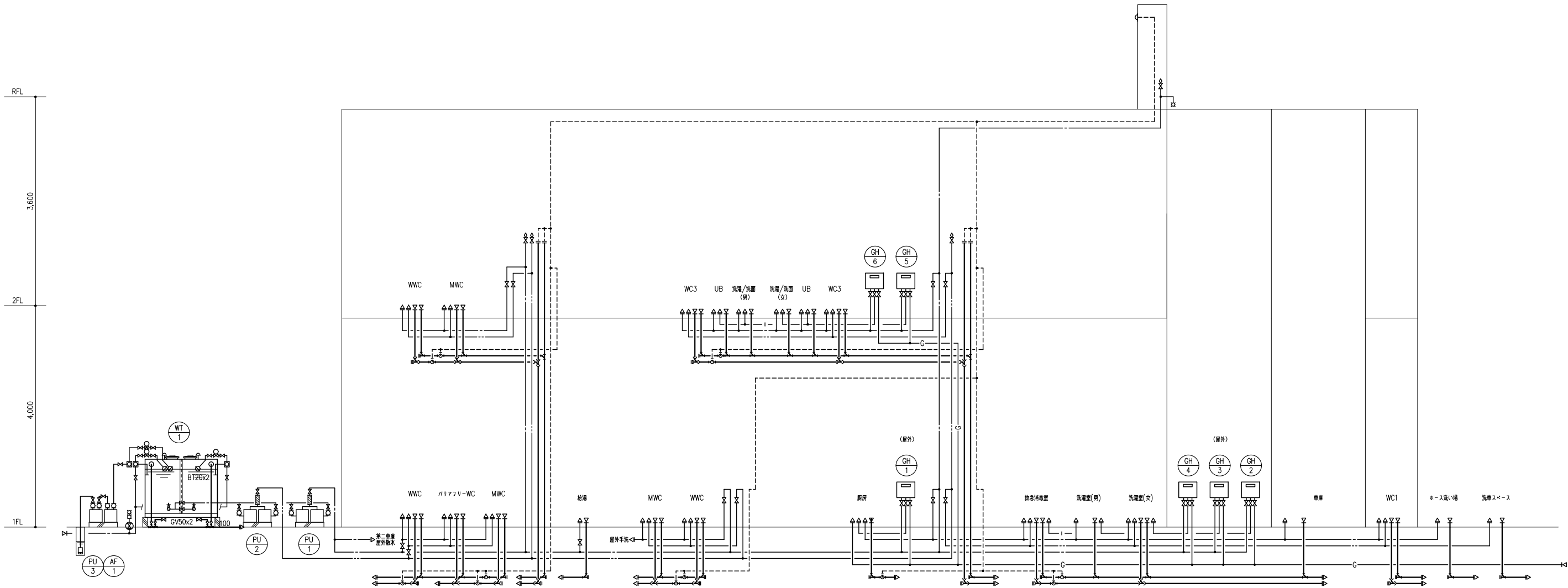
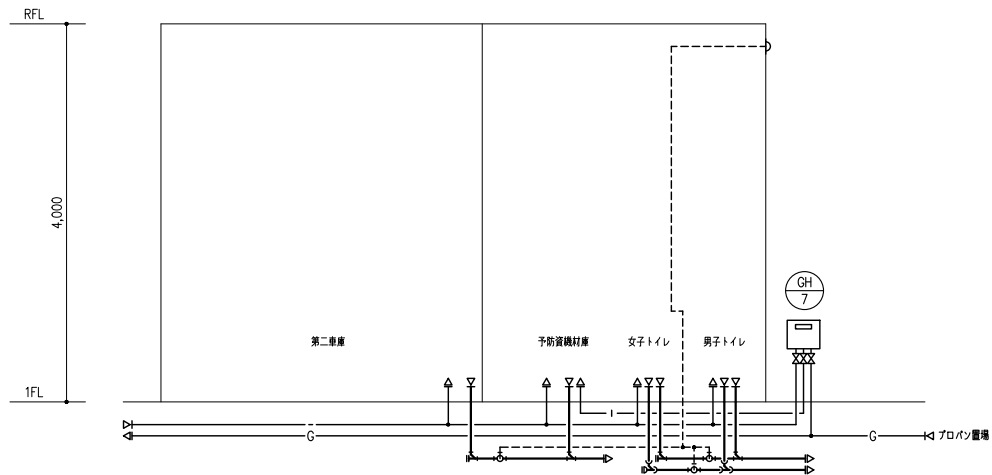
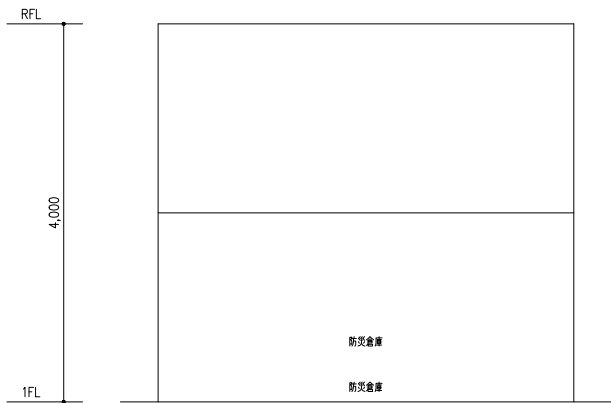
機器表

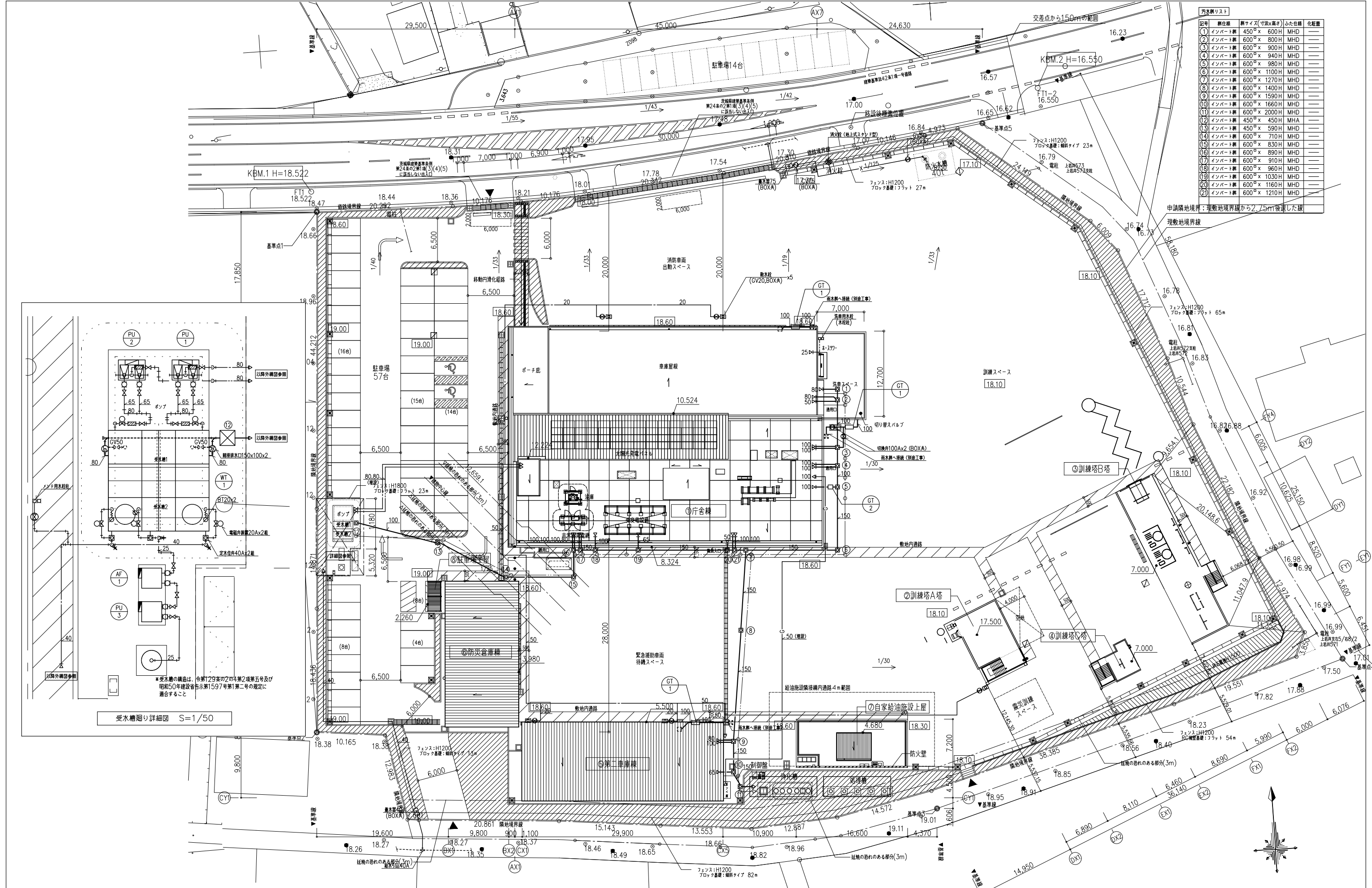
[illegible]

機器番号	機 器 名 称 (系 統 名)	設 置 階	台 数	機 器 仕 様	電動機 (50Hz)							遠 方					コン クリ ート 基礎	B:JLS: S:スリッパ P:JLdy!	備 考
					動 力 kW	相 φ	電 圧 V	極 数 P	起 動 方 式	非 常 電 源	イン ター ロ ック ・ 連 動	発 停	運 転 故 障 表 示	警 報					
GH-1	ガス給湯器	屋外	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	66W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈厨房系統〉			能力 24 号 ガス消費量 52.3 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	141W														
GH-2	ガス給湯器	屋外	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	66W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈救急消毒室系統〉			能力 24 号 ガス消費量 52.3 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	141W														
GH-3	ガス給湯器	屋外	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	75W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈洗濯室（男）系統〉			能力 32 号 ガス消費量 58.7 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	188W														
GH-4	ガス給湯器	屋外	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	66W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈洗濯室（女）系統〉			能力 24 号 ガス消費量 52.3 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	141W														
GH-5	ガス給湯器	2F	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	72W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈洗面／洗濯（男）系統〉			能力 50 号 ガス消費量 91.9 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	257W														
GH-6	ガス給湯器	2F	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	66W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈洗面／洗濯（女）系統〉			能力 24 号 ガス消費量 52.3 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	141W														
GH-7	ガス給湯器	屋外	1	ガス瞬間湯沸器（屋外壁掛型）潜熱回収型	43W	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈第二倉庫予防資機材庫系統〉			能力 16 号 ガス消費量 34.9 kW 凍結防止ヒーター															
				付属品 配管カバー、メインリモコン他付属品一式	141W														
				※ガス消費設備の構造はガス事業法施行規則第202条に適合すること															
EH-1	電気温水器	1F	1	置き型貯湯式（雑用）	2.0	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	-			
	〈給湯室系統〉			貯湯量 20 L															
				付属品 止水栓、膨張水排出装置															
GT-1	ガソリントラップ	屋外	3	SUS製配管式（3槽）〈蓋は重耐重〉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				寸法 1000x500x660H															
				本体容量 160 L															
				付属品 マンホール蓋、受け枠、バスケット、トラップ管、他標準付属品一式共															
				※昭和50年建設省告示第1597号第2四号に定める構造とすること															
GT-2	グリーストラップ	屋外	1	SUS製配管式（3槽）〈蓋は重耐重〉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				寸法 800x400x550															
				本体容量 120 L															
				付属品 マンホール蓋、受け枠、バスケット、トラップ管、他標準付属品一式共															
				※昭和50年建設省告示第1597号第2四号に定める構造とすること															

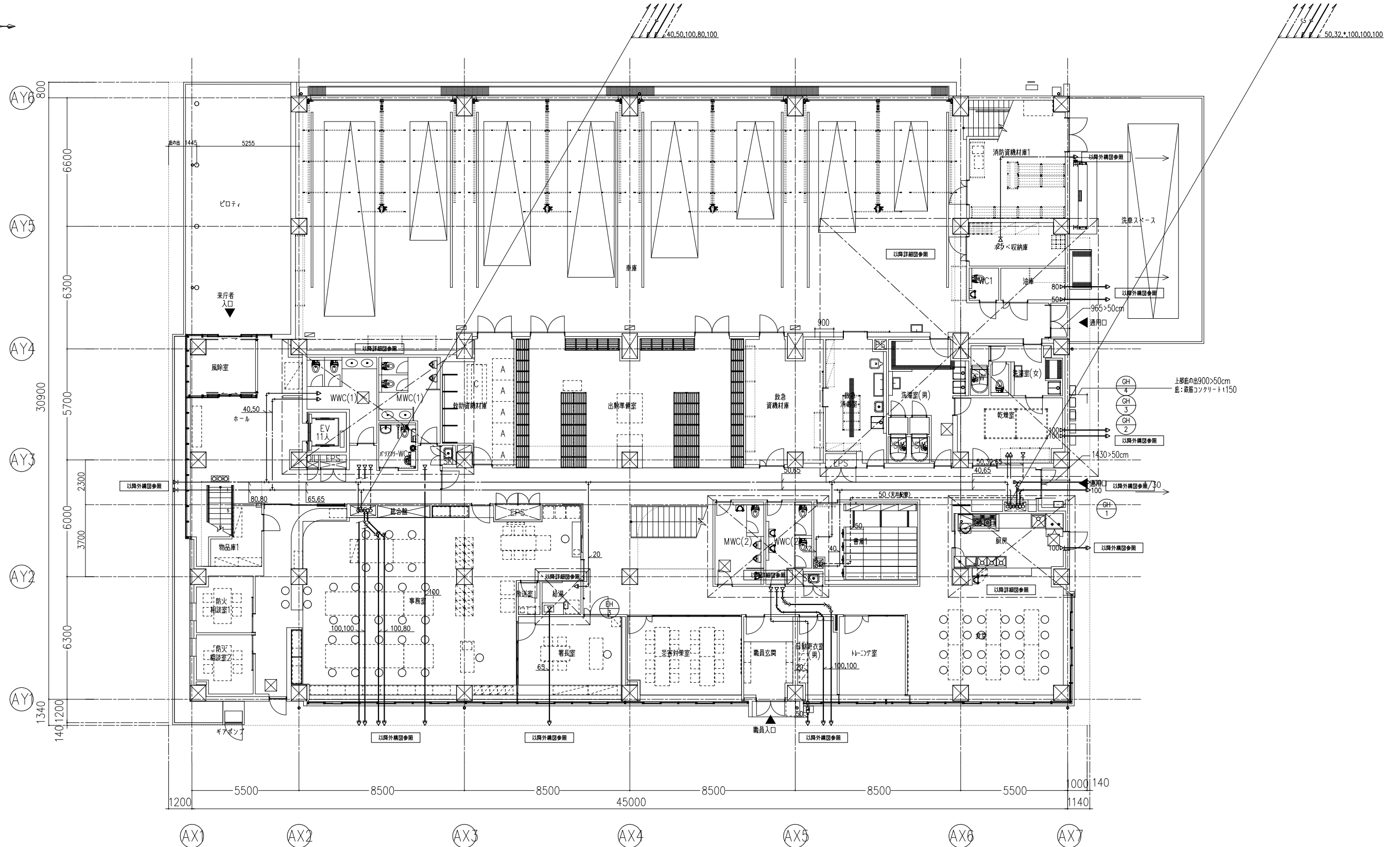
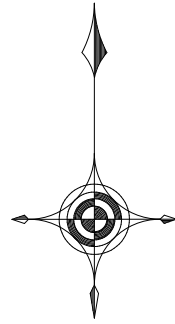
衛生器具表(1)

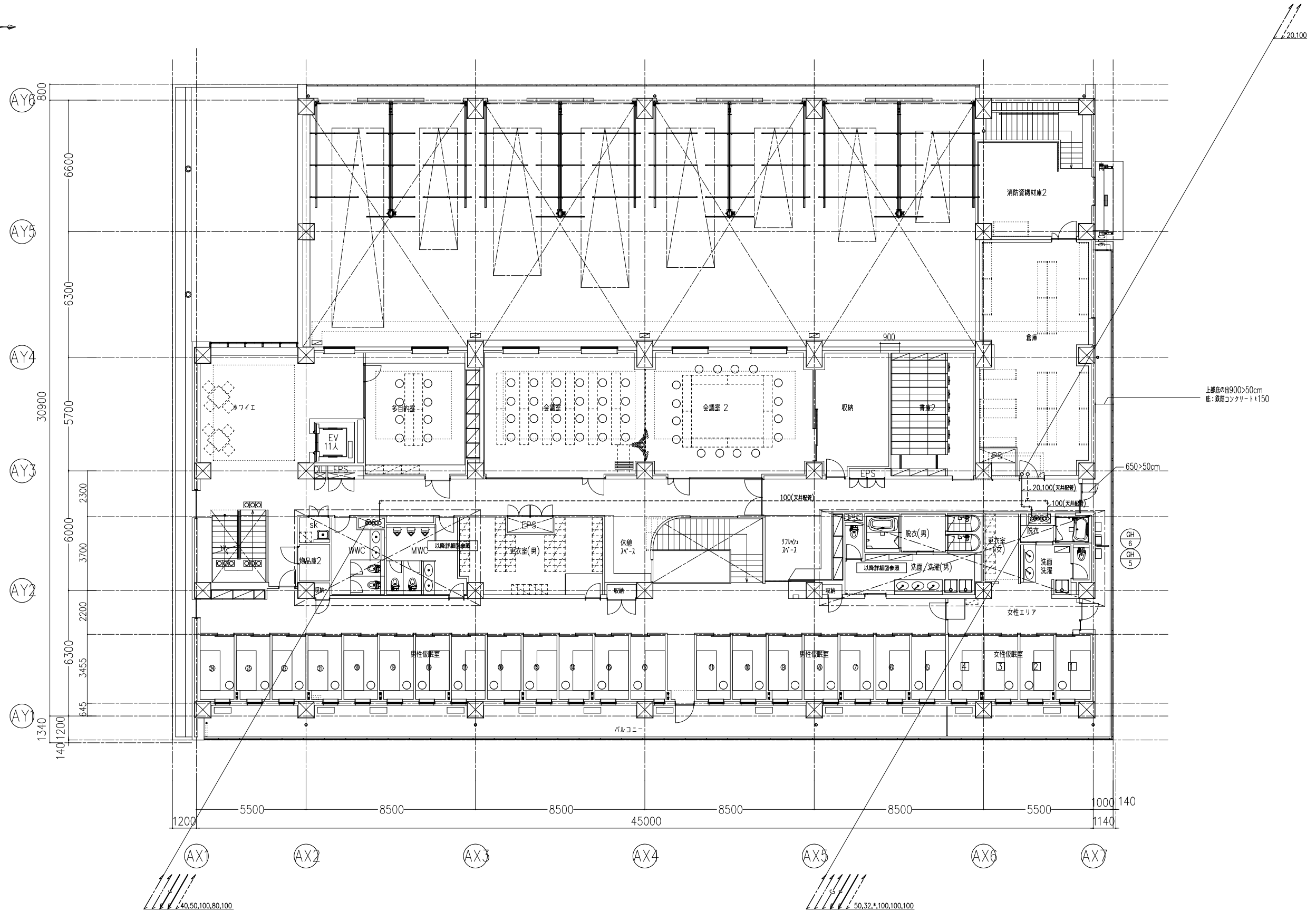
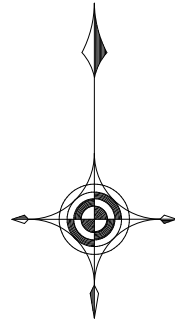
[illegible]

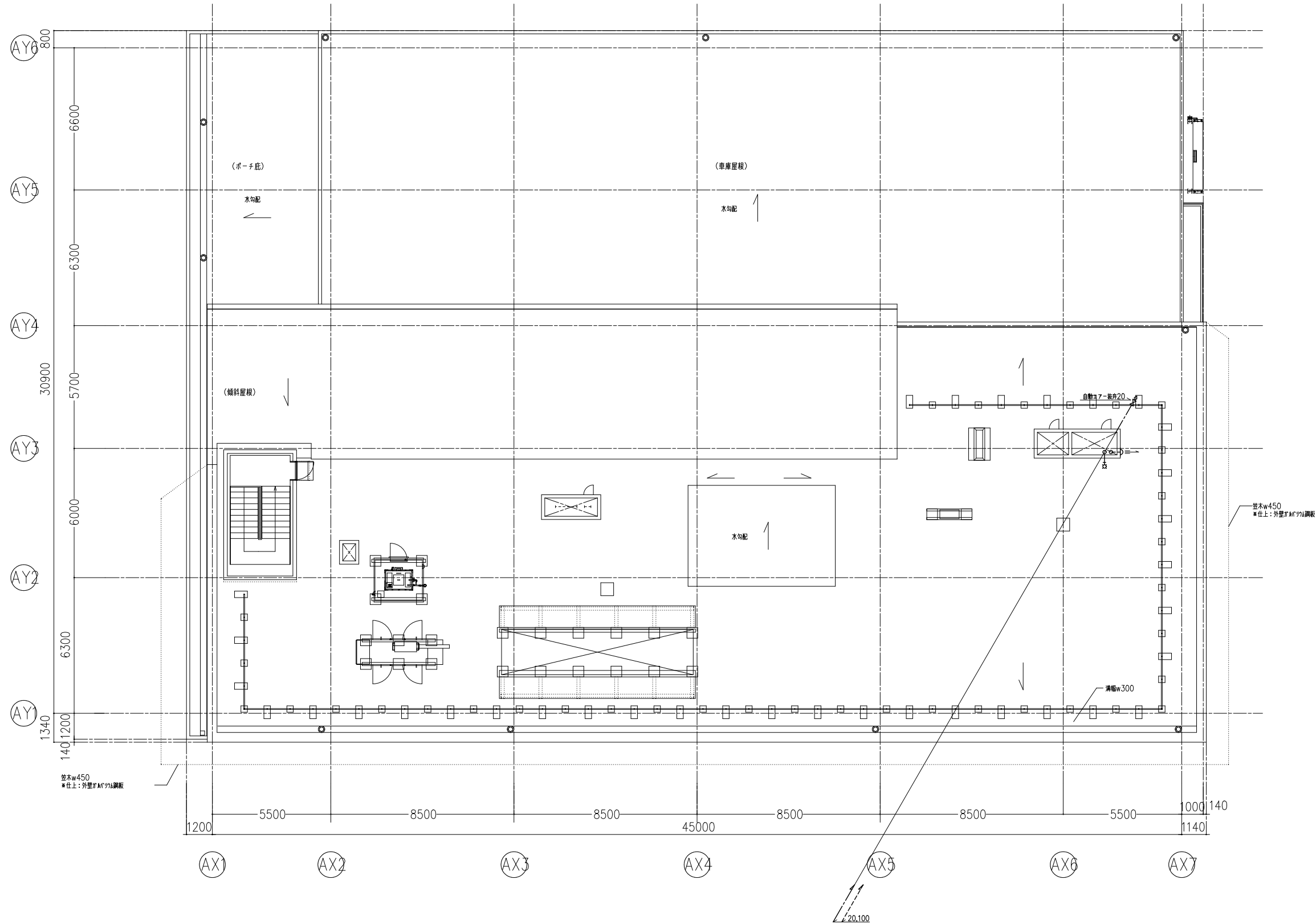
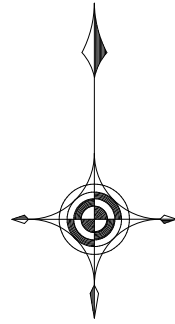


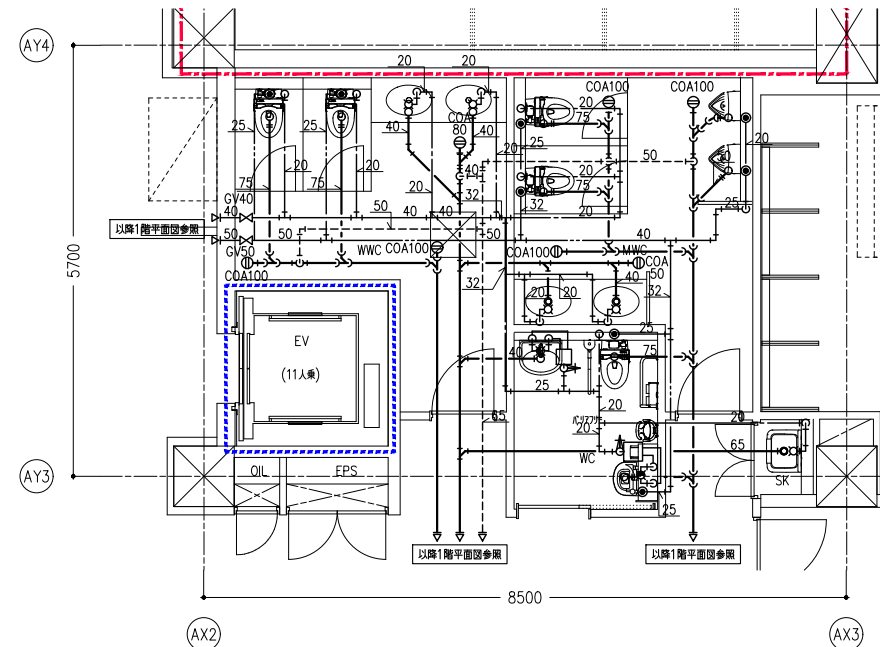


汚水軒リスト				
記号	排水機	排水機	排水機	化糞槽
①	インバート	450φ x 600H	MHD	—
②	インバート	600φ x 800H	MHD	—
③	インバート	600φ x 900H	MHD	—
④	インバート	600φ x 940H	MHD	—
⑤	インバート	600φ x 980H	MHD	—
⑥	インバート	600φ x 1100H	MHD	—
⑦	インバート	600φ x 1270H	MHD	—
⑧	インバート	600φ x 1400H	MHD	—
⑨	インバート	600φ x 1590H	MHD	—
⑩	インバート	600φ x 1660H	MHD	—
⑪	インバート	600φ x 2000H	MHD	—
⑫	インバート	450φ x 450H	MHA	—
⑬	インバート	450φ x 580H	MHD	—
⑭	インバート	600φ x 710H	MHD	—
⑮	インバート	600φ x 830H	MHD	—
⑯	インバート	600φ x 890H	MHD	—
⑰	インバート	600φ x 910H	MHD	—
⑱	インバート	600φ x 960H	MHD	—
⑲	インバート	600φ x 1030H	MHD	—
⑳	インバート	600φ x 1160H	MHD	—
㉑	インバート	600φ x 1210H	MHD	—

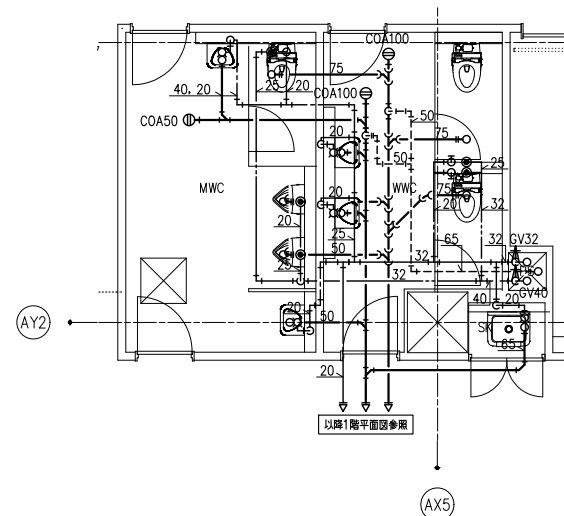




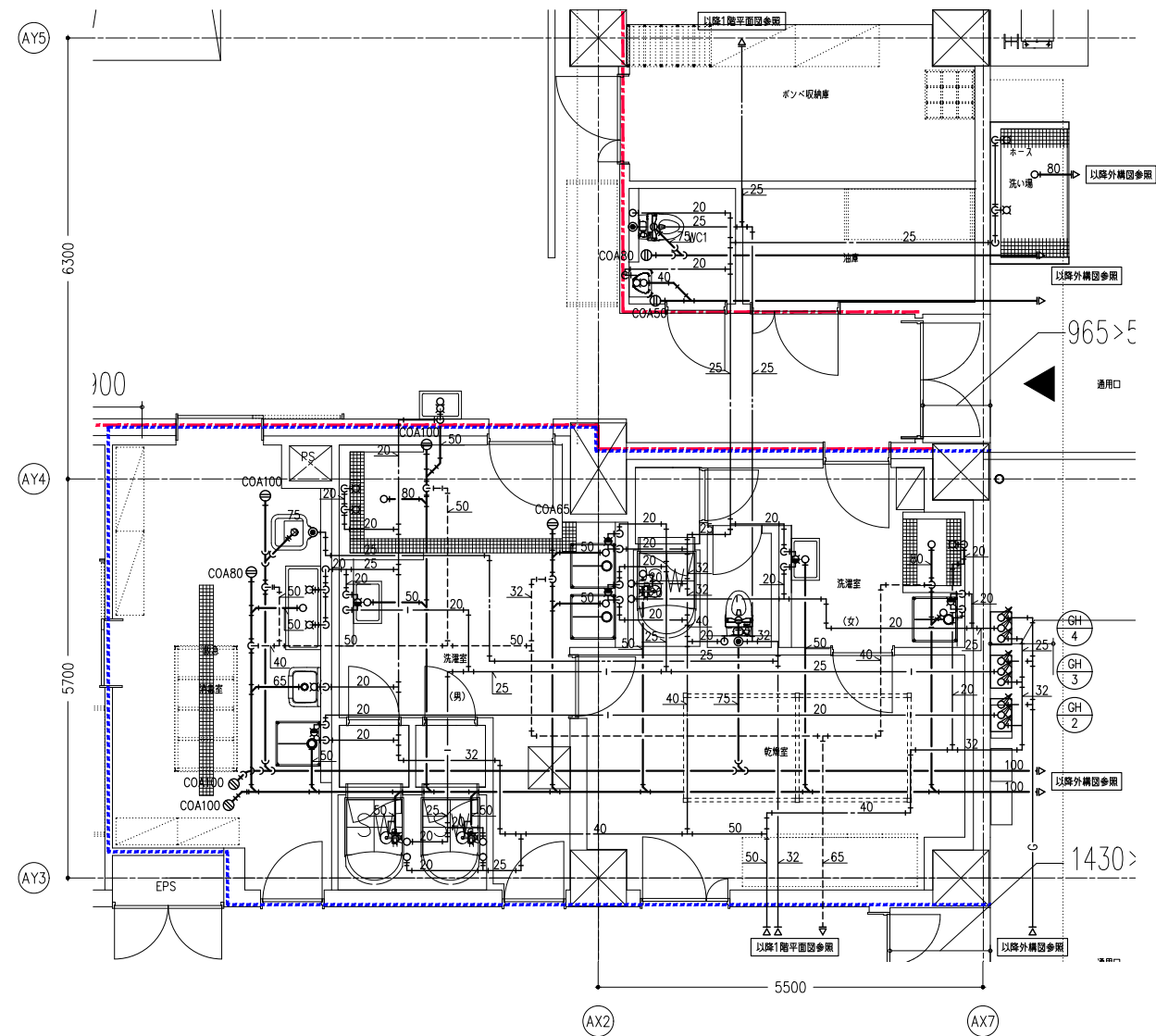




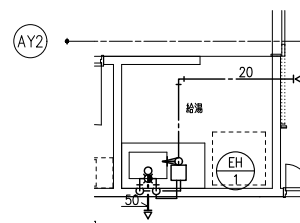
1階WC詳細図 S=1/50



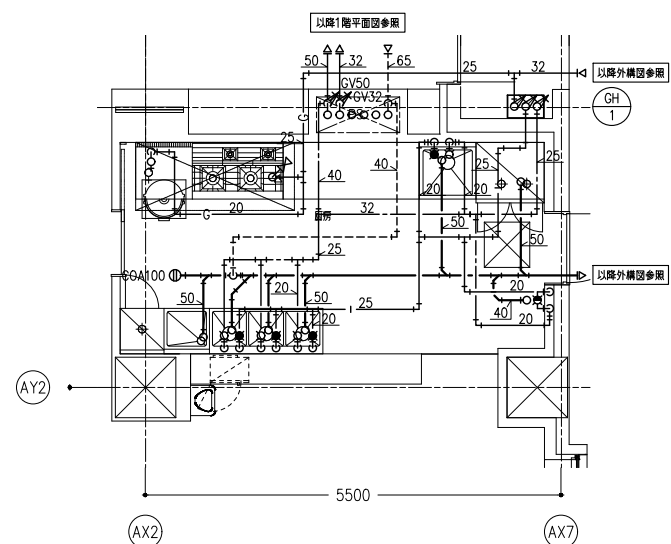
1階WC詳細図 S=1/50



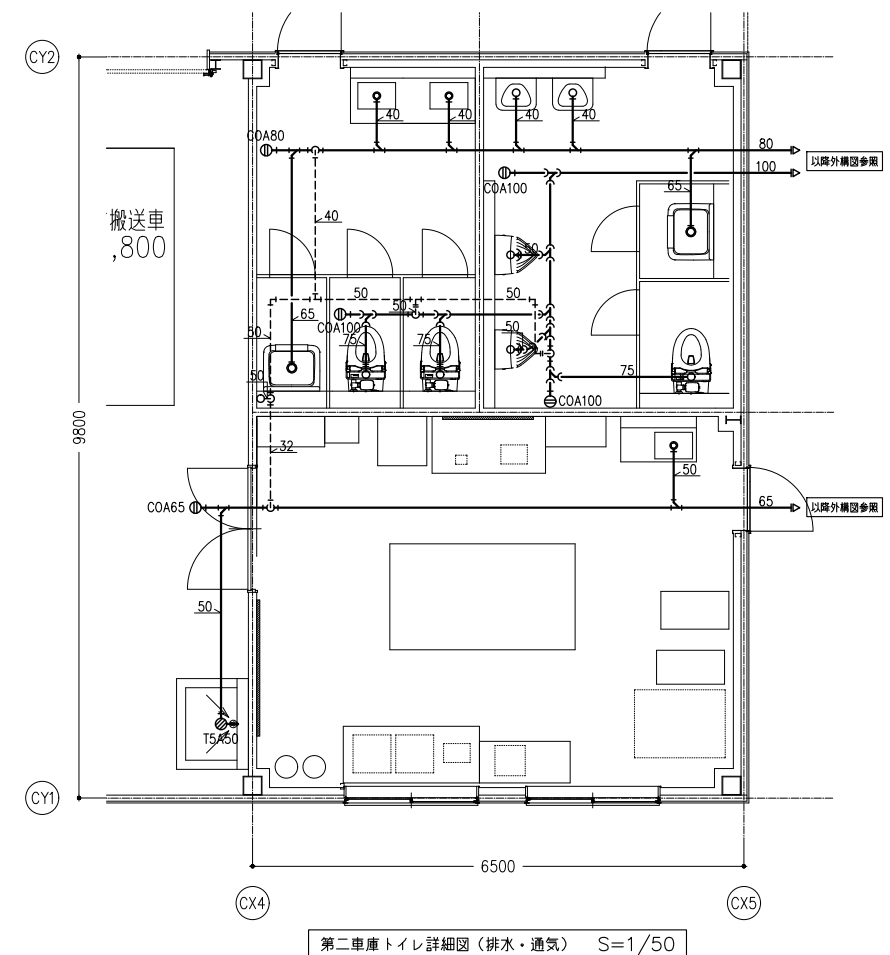
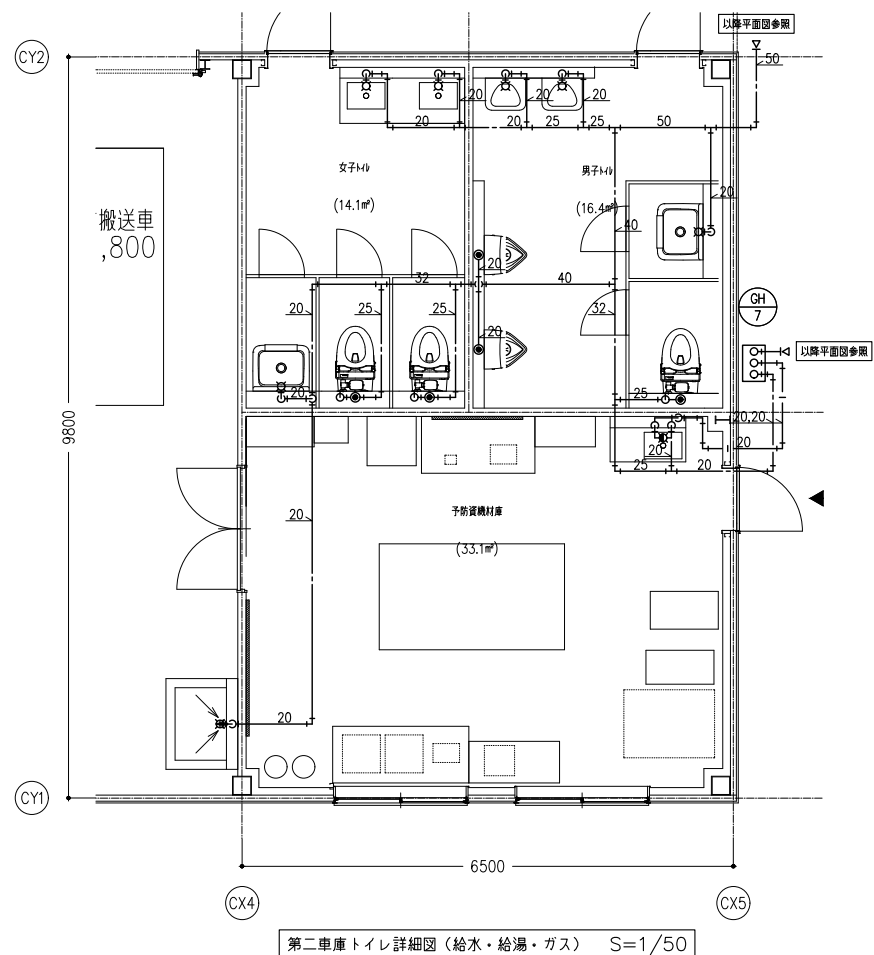
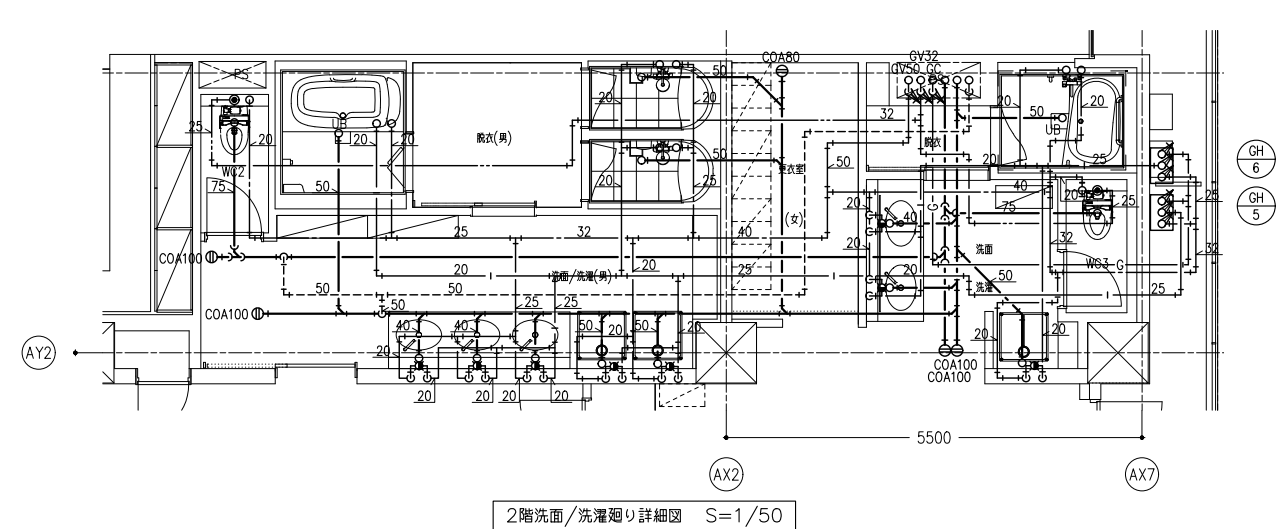
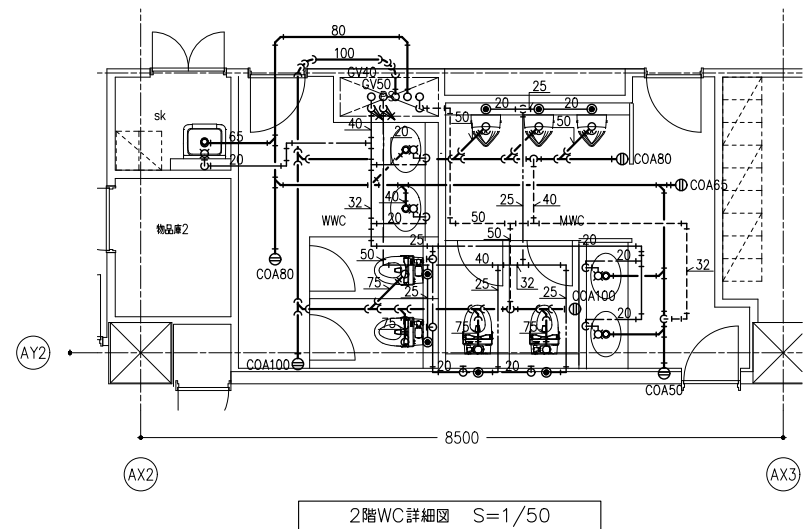
1階洗濯室廻り詳細図 S=1/50

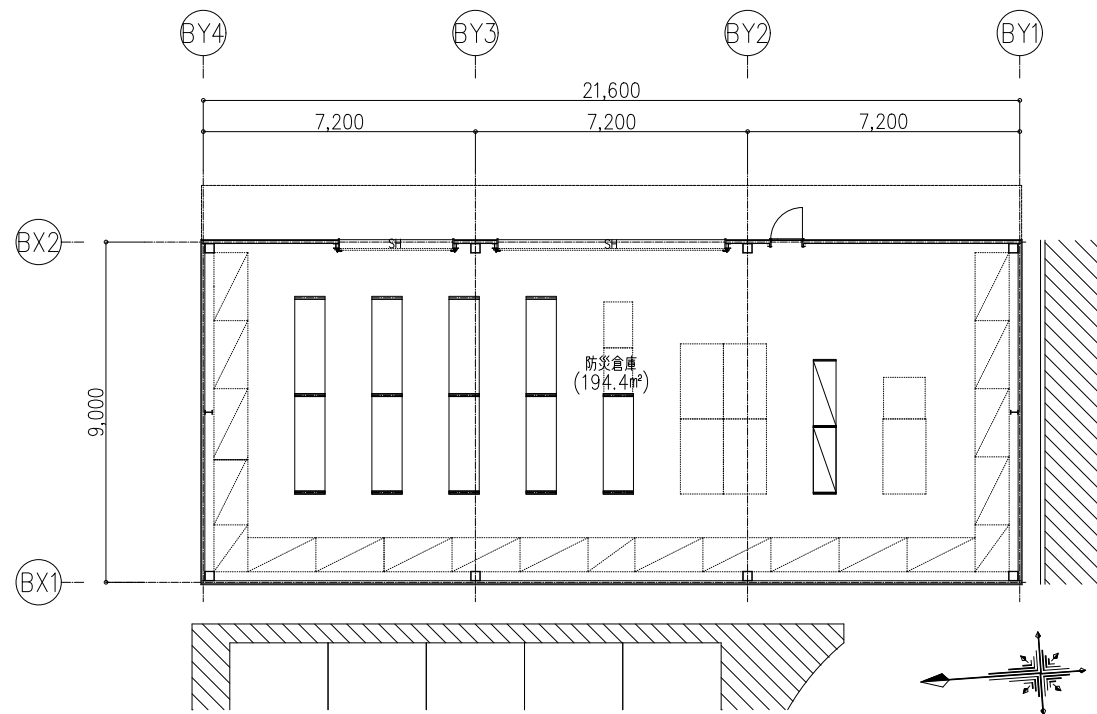


1階給湯詳細図 S=1/50

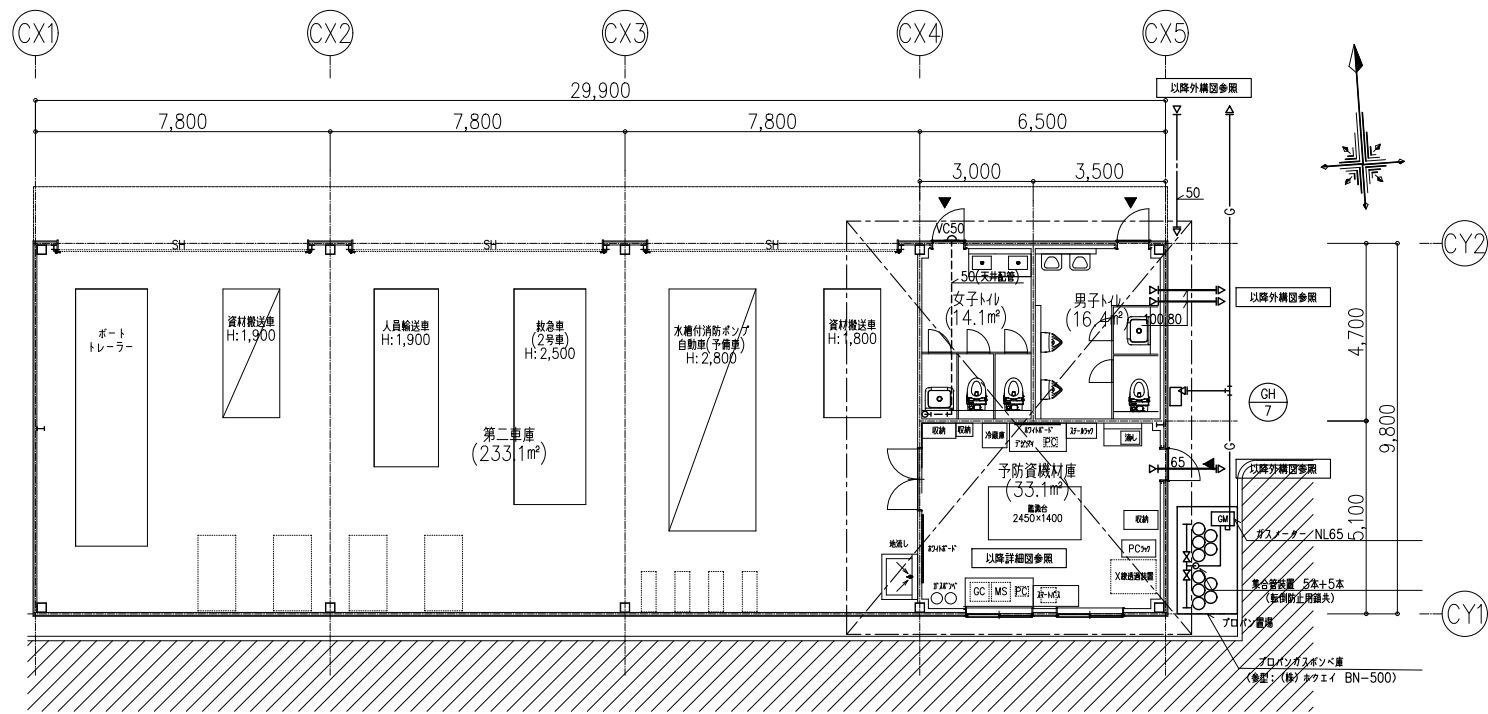


1階厨房詳細図 S=1/50

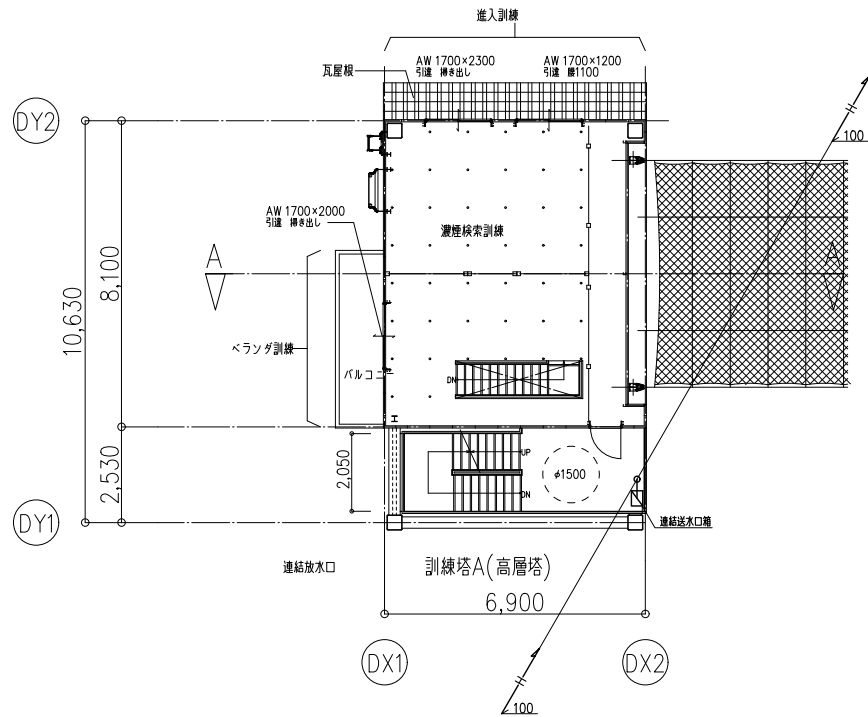
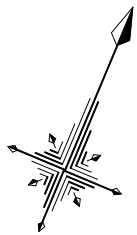




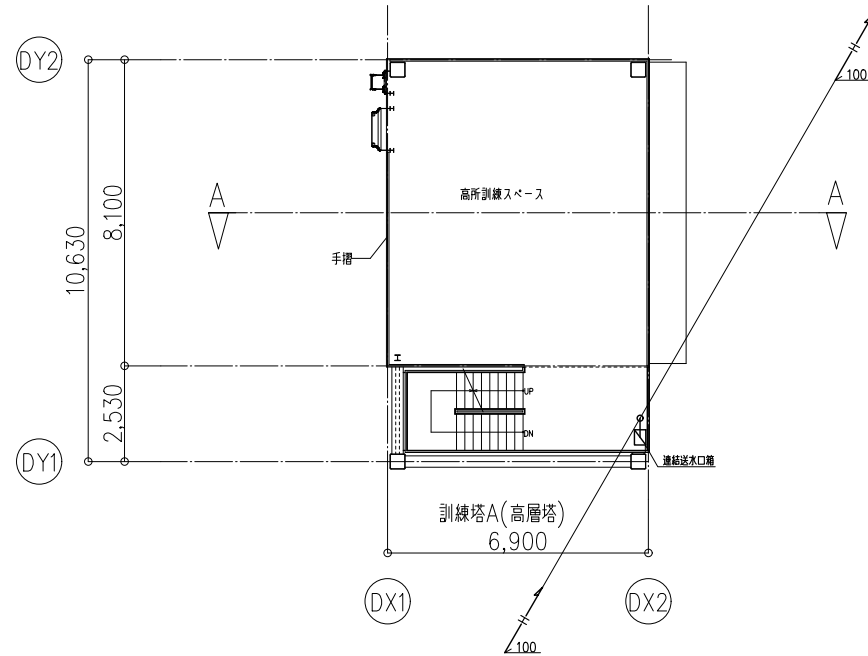
防災倉庫 平面図



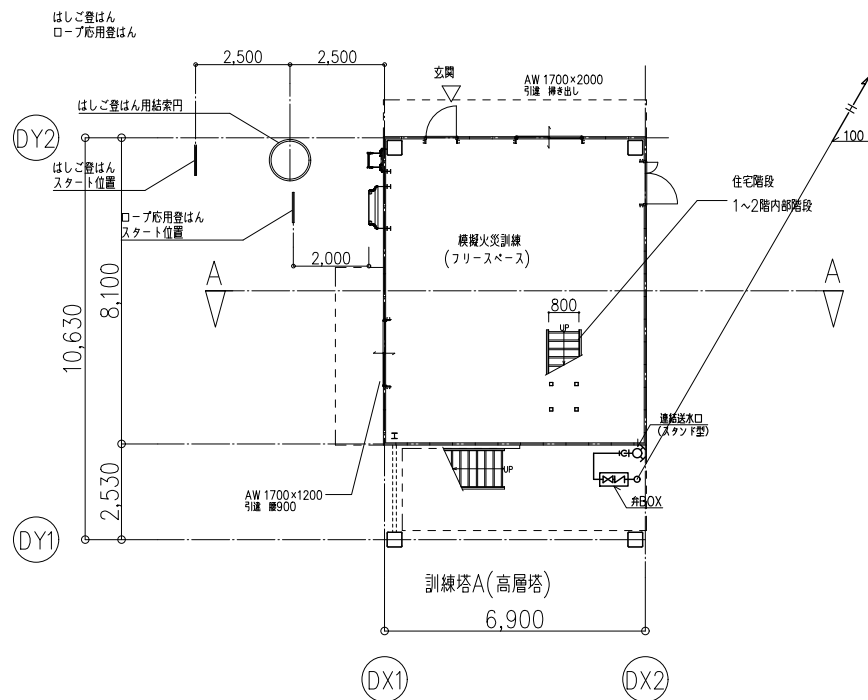
第二車庫 平面図



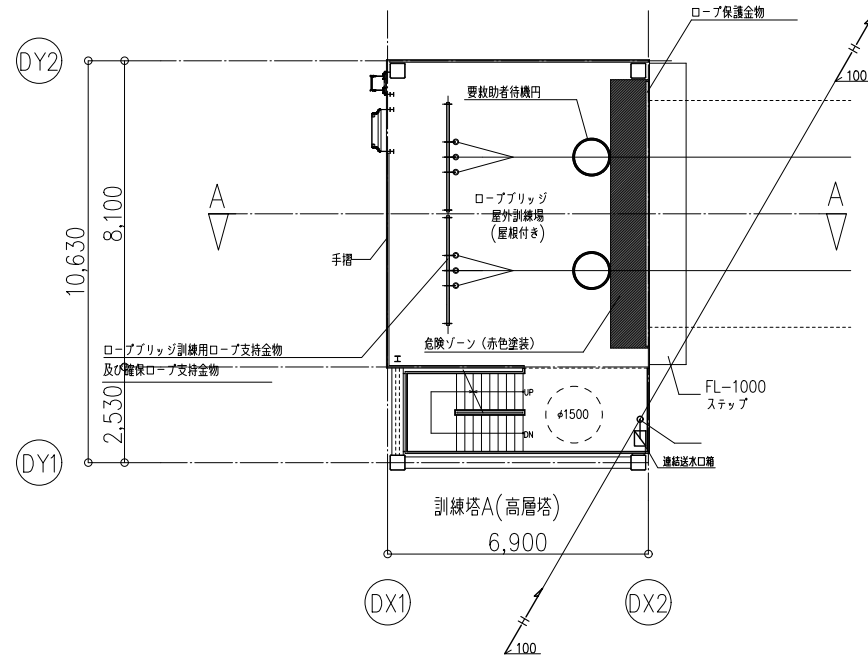
2階平面図



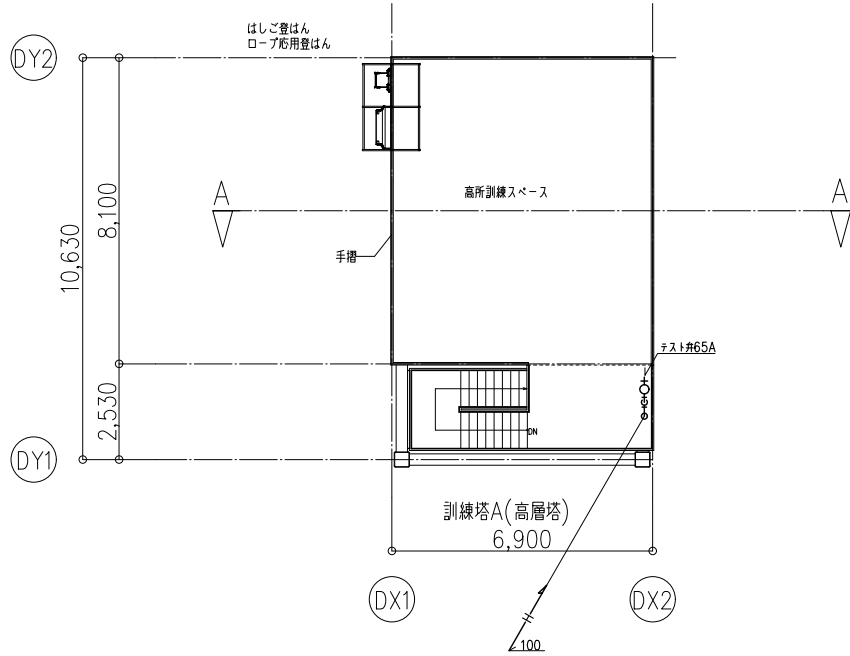
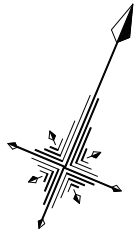
3階平面図



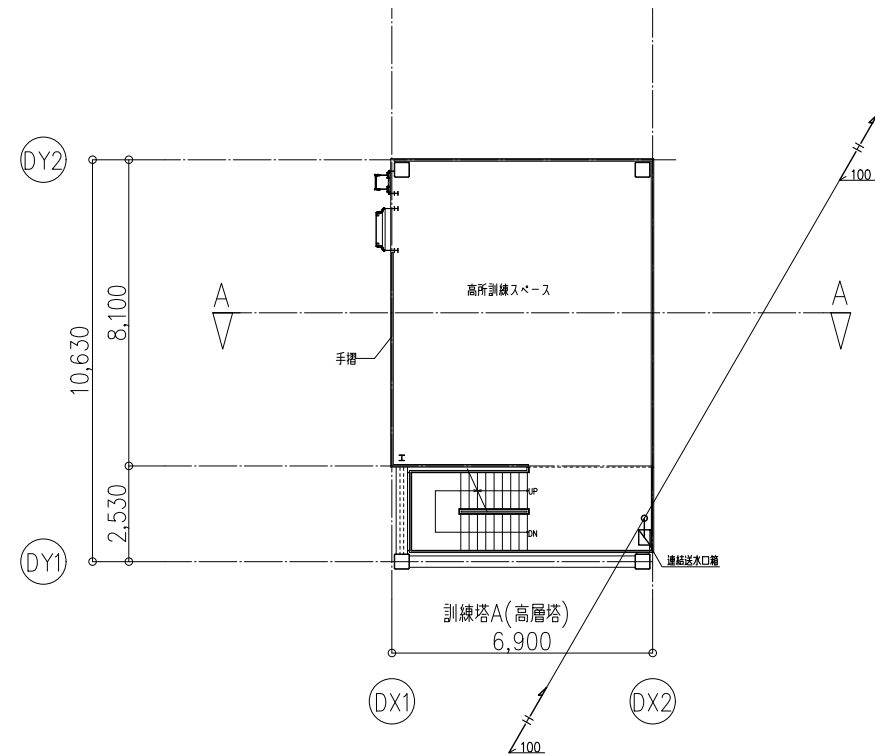
1階平面図



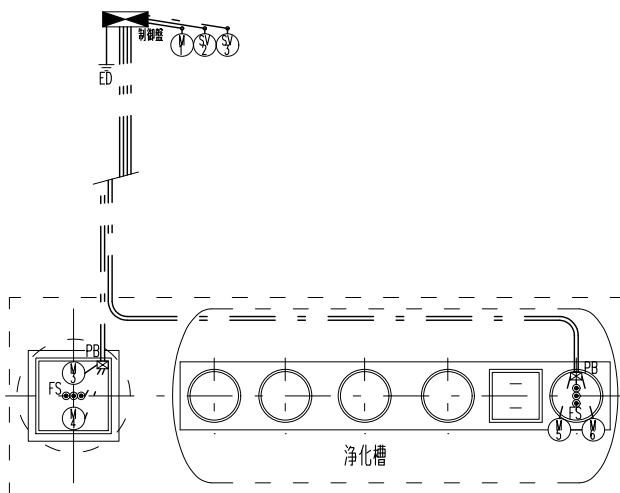
3階平面図



6階平面図



5階平面図

$$S = 1/50$$


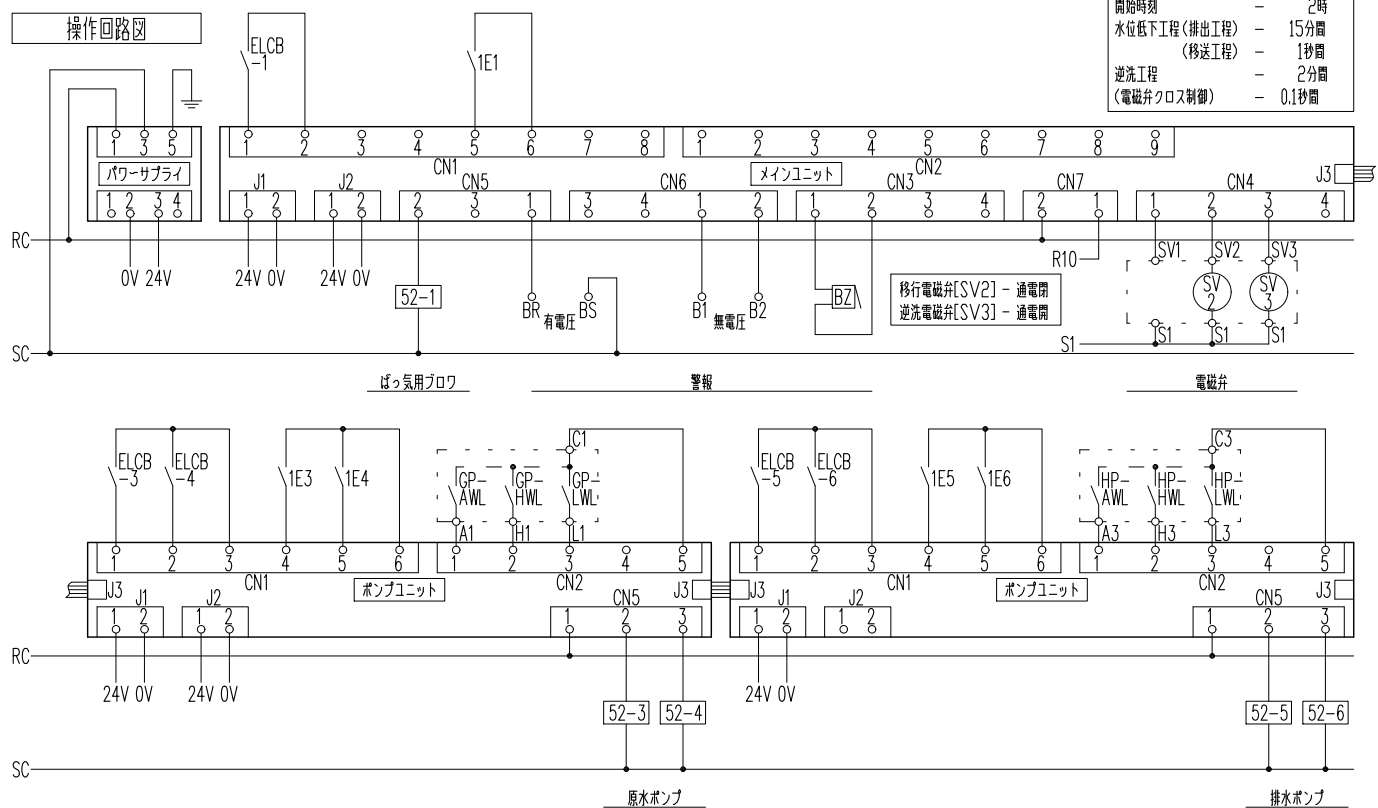
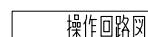
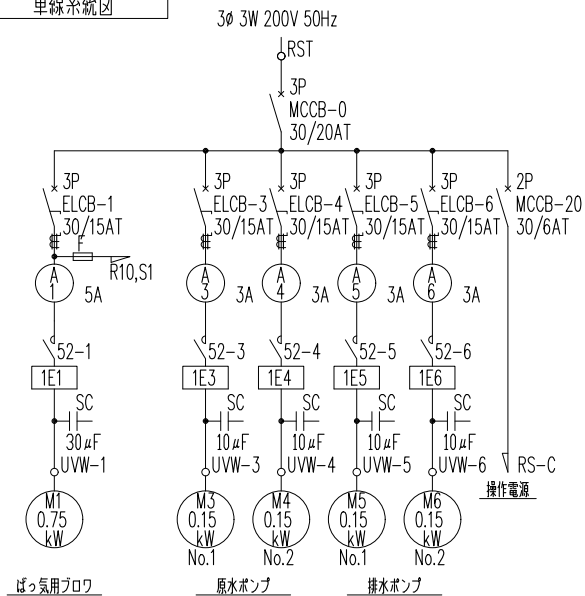
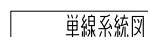
記号	機 器 名 称	容 量	電線・ケーブル	電線管	PB (VE)
M 1	ばっ気用フコウ	0.75 kW	CV 2φ-4C	22	――
M 3	No.1 原水ポンプ	0.15 kW	CV 2φ-4C	28	150×150×100
M 4	No.2 原水ポンプ	0.15 kW	CV 2φ-4C		
FS	原水ポンプ槽フロートスイッチ	x 3	CVV 2φ-4C	22	
M 5	No.1 排水ポンプ	0.15 kW	CV 2φ-4C	28	
M 6	No.2 排水ポンプ	0.15 kW	CV 2φ-4C		
FS	排水ポンプ槽フロートスイッチ	x 3	CVV 2φ-4C	22	
SV 2	移行 電磁弁		CVV 2φ-3C	22	
SV 3	逆洗 電磁弁	――	CVV 2φ-3C	22	――
ED	D種接地盤	――	IV 2.0	16	――

〔注記〕

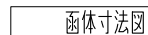
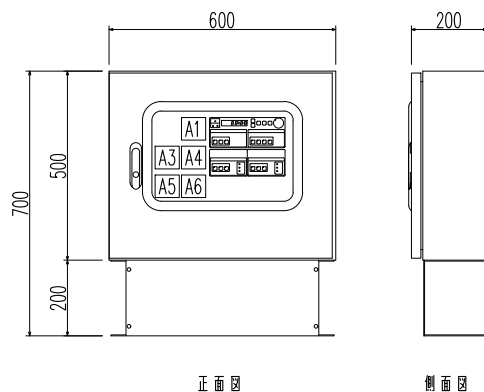
全ての電線管はHIVE又は、PF管とする。

ケーブル及び電線管は制御盤までの距離により変更することがある。

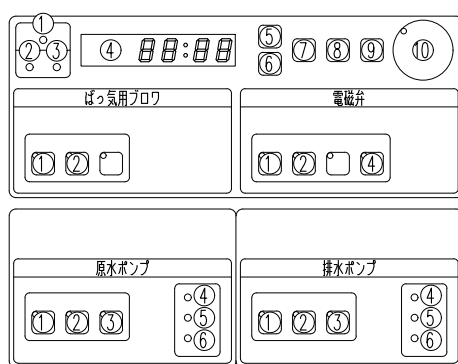
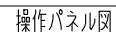
Ⅶ種接地極は一次側にて接地する場合は不要とする。



開始時刻	—	2時
水位低下工程(排出工程)	—	15分間
(移送工程)	—	1秒間
逆洗工程	—	2分間
(電磁弁クロス制御)	—	0.1秒間


$$S=1/10$$


函 体 仕 様	
本体	1.6mm SPCC
扉	1.6mm SPCC
取付板	1.6mm SPCC
架台	2.3mm SPCC
塗装色	5Y7/1(ベージュ系)

[illegible]

ばっ気用プロウ	
①	〔自動/手動〕ランプ・ボタン
②	〔入/切〕ランプ・ボタン

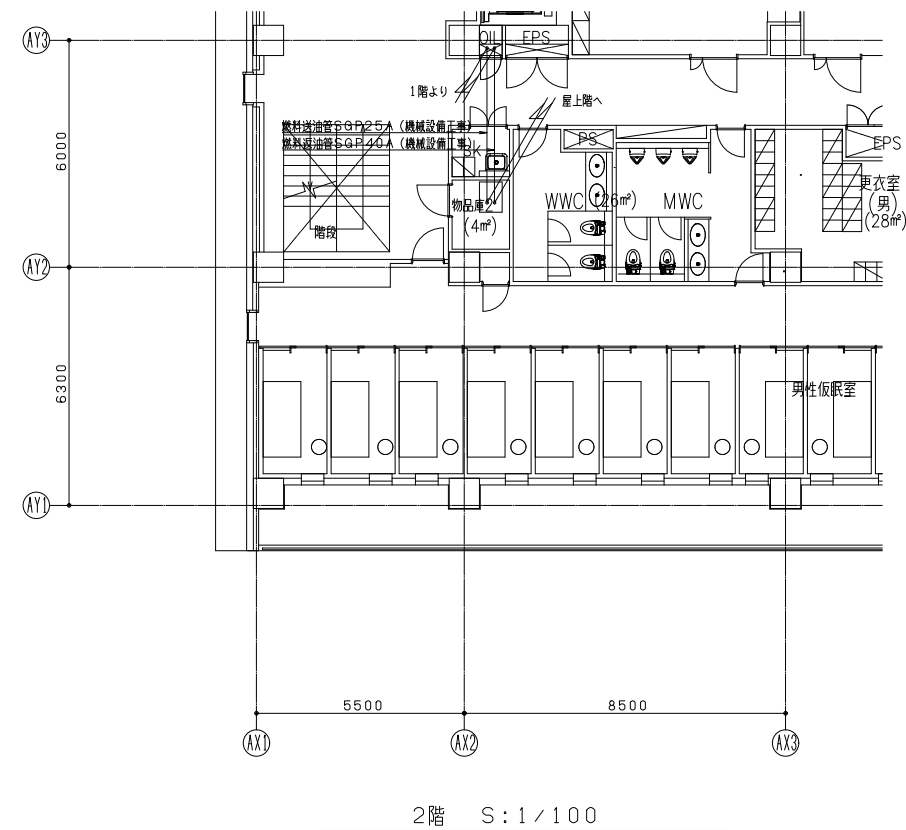
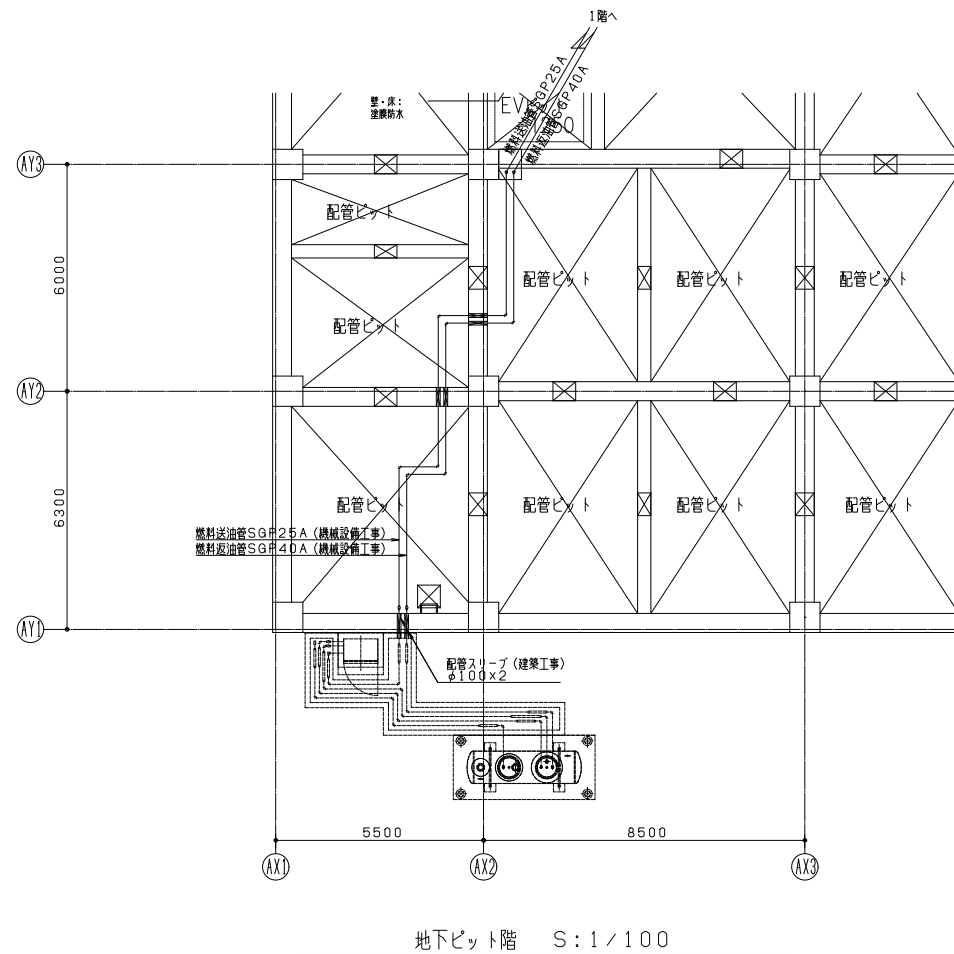
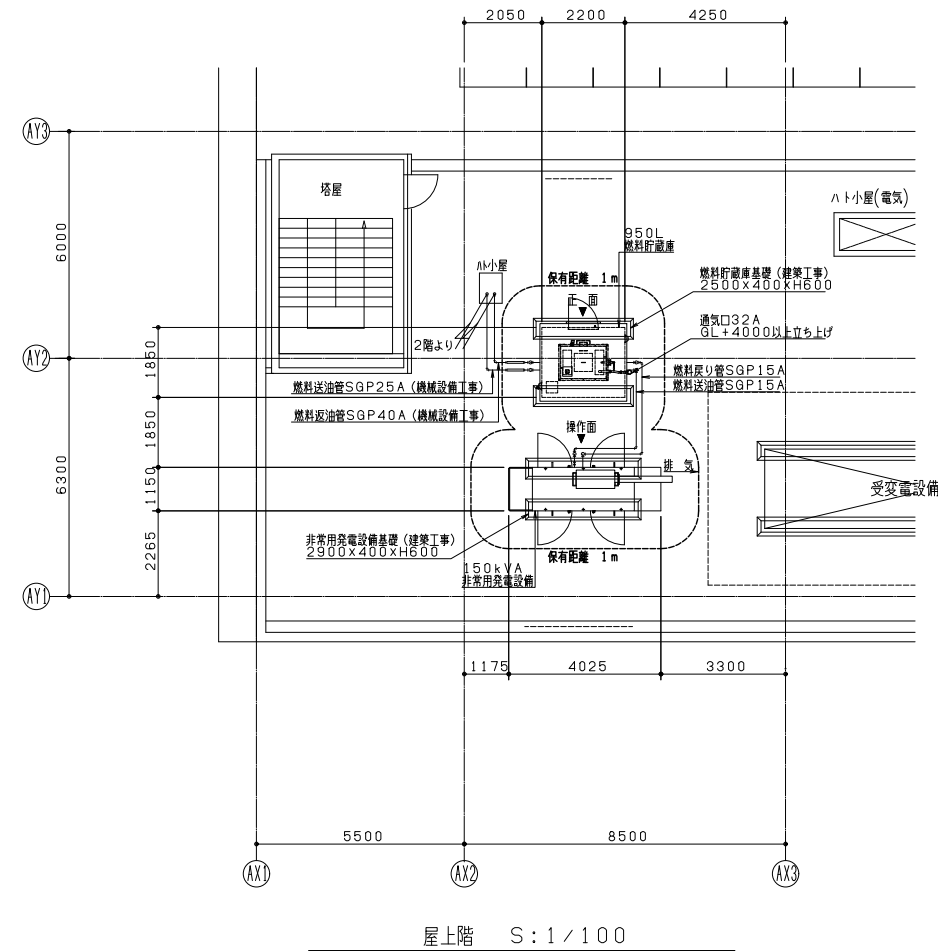
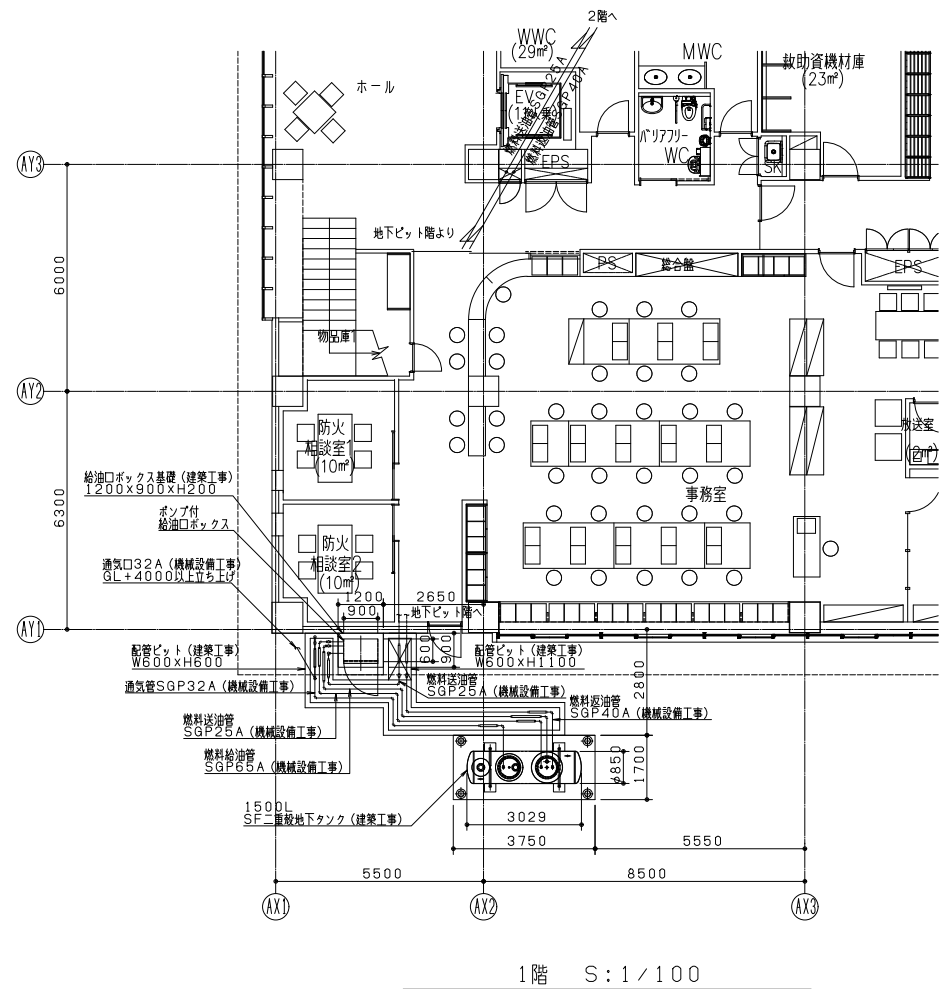
原水ポンプ	
①	〔自動/手動〕ランプ・ボタン
②	〔入/切〕ランプ・ボタン(No.1)
③	〔入/切〕ランプ・ボタン(No.2)
④	〔満水 (AWL)〕ランプ
⑤	〔高水位 (H.W.L)〕ランプ
⑥	〔低水位 (L.W.L)〕ランプ

電磁弁	
①	〔自動/手動〕ランプ・ボタン
②	〔手動〕ボタン 水位低下工程ランプ
④	〔手動〕ボタン 逆流工程ランプ

排水ポンプ	
①	〔自動/手動〕ランプ・ボタン
②	〔入/切〕ランプ・ボタン(No.1)
③	〔入/切〕ランプ・ボタン(No.2)
④	〔満水 (AWL)〕ランプ
⑤	〔高水位(HWL)〕ランプ
⑥	〔低水位(LWL)〕ランプ

原水ポンプ	
①	[自動/手動]ランプ・ボタン
②	[入/切]ランプ・ボタン(No.1)
③	[入/切]ランプ・ボタン(No.2)
④	[満水 (AWL)]ランプ
⑤	[高水位(HWL)]ランプ
⑥	[低水位(LWL)]ランプ

排水ポンプ	
①	[自動/手動]ランプ・ボタン
②	[入/切]ランプ・ボタン(No.1)
③	[入/切]ランプ・ボタン(No.2)
④	[満水 (AWL)]ランプ
⑤	[高水位(HWL)]ランプ
⑥	[低水位(LWL)]ランプ



※ 図示の油配管は本工事とする。

<div><div><div>一級建築士事務所</div><div>東京都登録第4539号</div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社 楠山設計</div><div>東京都千代田区神田小川町三丁目20番地</div></div></div></div><div>意匠設計</div></div>		<div>構造設計</div>	構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 蘭 耕 一	<div>設備設計</div>	設備設計一級建築士登録第 号	DATE		TITLE 坂東消防署庁舎建設工事		
	一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹		一級建築士登録第 271669 号 飯屋 蘭 耕 一		一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹			SUBTITLE 庁舎 油配管図	SCALE A1: S=1/100 A3: A1×1/2	DRAWN NO. 設計図 機械 M - 133

特記仕様書

1. 本特記仕様書は、（さく井工事）を設置するものである。
2. 本工事にあたっては現地をよく調査し、監督員と十分協議して行くとともに打合せ記録を提出する。
3. 取水井戸は下記の仕様で2井施工とする。

(1) 掘削口径

300mm

(2) ケーシング口径

150mm

(3) 掘削深度

30.0m

(4) ケーシングパイプ

150HVP

(5) スクリーンパイプ

150HVP（スリット型）
4. さく井位置は「設計図」に示す地点であるが、井戸の孔芯については監督員立会いのもとで決める。
5. 掘削機は、ローピングパーカッション又はロータリー掘削機を使用する。
6. 掘削深度は、地盤より30mとする。
7. 掘削孔は、垂直に行う。
8. 掘削中は、常に地層の変化する毎にサンプルを収集するとともに、帯水層を確認する。

収集したサンプルは保管し、工事完成時に監督員に提出する。
9. 掘削中は、あらゆる事故発生に対応する機械器具を準備し、事故発生時には迅速な復旧処置を講なければならない。
10. 掘削泥水は場外処理としマニフェストを提出すること。
11. 掘削完了後、直ちに監督員立会いのもとに検尺を行う。
12. 掘削完了後、直ちに監督員立会いのもとに電気検層を行う。スクリーン挿入位置は電気検層結果、掘削状況、地層サンプルをもとに解析し、監督員と協議して決定する。
13. ケーシングパイプの接続部は、継手またはネジ接続とする。
14. スクリーンパイプと裸孔との空間には珪砂を充填し、その上部は遮水粘土を充填後セメントミルクを注入し、土砂の流入防止を努める。
15. 井底の沈殿物は、ペーラーにより浚渫を行うこと。
16. 砂利充填後は、監督員の指示に従い、井水の清澄するまで十分に孔内洗浄作業を行う。
17. 揚水試験は十分な取水能力のあるポンプを使用し、揚水量の確認を監督員立会いの上で行うこと。
18. 監督員の指示により井水を採水し、保健所またはそれに準ずる試験所にて水質検査を依頼し、その成績表を監督員に提出する。水質検査項目は、51項目とする。
19. 完成図書は下記の仕様とする。

(1) 完成報告書

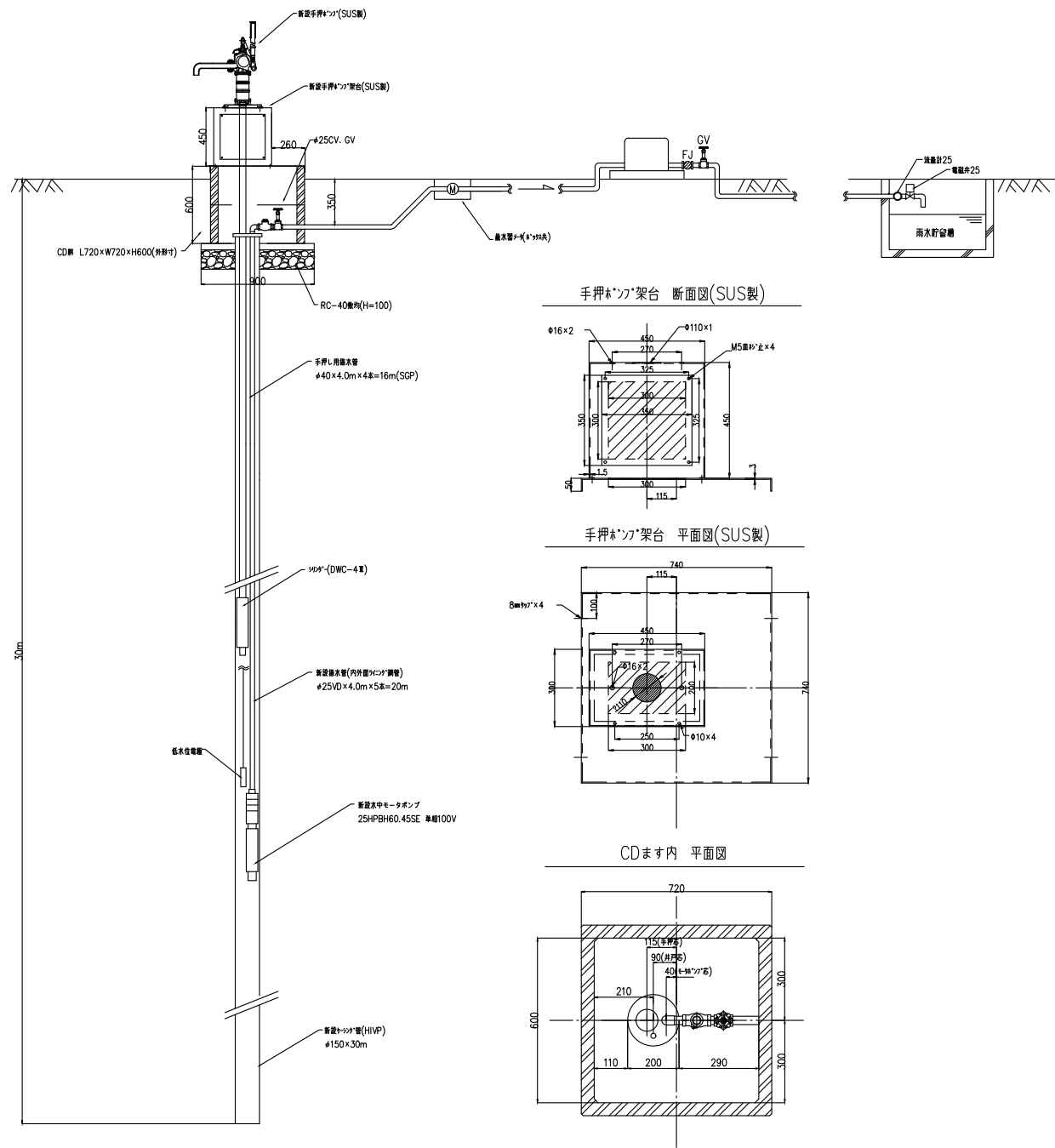
3部

施工箇所位置図、案内図、地層柱状図、電気検層図、揚水試験記録、水質検査成績表

(2) 工事記録写真

1部

(3) その他監督員の指示するもの。



水中ポンプ据付図 S=NS